新京日日新聞
夕刊
八月十三日

本紙定價　一部五錢　一ヶ月壹圓　郵税一ヶ月拾五錢
廣告料金　普通一行壹圓五拾錢　特別一行貳圓五拾錢
發行所　新京永樂町四ノ一　新京日日新聞社
電話（編輯局専用(3)三二二五）（營業局専用(3)三三〇〇）
發行人　松本榮忠
編輯人　十河勇
印刷人　水越内之介

上海遂に爆發點へ到達

陸戰隊本部西方に突如數十發の銃聲

陸戰隊非常警備の位置につく

【上海十三日發國通至急報】上海方面の形勢緊迫のため、わが陸戰隊も愈よ十二日夜出動、租界警備の位置につき租界一帶は一觸即發の無氣味な空氣がたゞよつてゐたが、十三日午前九時十五分頃、わが陸戰隊本部西方に當つて突如數十發の銃聲が起つた

【上海十三日發國通至急報】陸戰隊本部西方（閘北青雲路附近）に銃聲聞えると共に待機中の陸戰隊は直ちに非常警備の位置についた

寶樂安路西方で便衣隊を潰走せしむ

【上海十三日發國通至急報】支那便衣隊は午前九時卅分寶樂安路西方空家屋上より海軍クラブ前智恩院に向つてピストルを射擊したため陸戰隊は直ちに應戰、これを潰走せしめた

青雲路附近で交戰中

【上海十三日發國通至急報】十三日午前九時半頃より青雲路、寶山路、虬江路クリーク附近で銃聲聞え、目下日支交戰中の模樣なり

【上海十三日發國通至急報】十三日午前九時四十分頃より小銃、機關銃の銃聲盛んなり

【上海十三日發國通至急報】十三日午前十時北四川路の越界路千愛里街同盟通信社宿舍附近に閘北方面より擊ち出した敵の銃彈盛んに落下しつゝあり

上海事變直前を彷彿

【上海十三日發國通】上海事變直前を彷彿させる不氣味な第一夜が明けた上海は危機第二日目を迎へた、北四川路一帶にはバス、電車の影なく人力車などが稀に見えるぐらいで支那商店は固く大戸を降したゞ要所々々を警戒するわが陸戰隊の銃劍が光つてゐるだけだ

國民政府の國家總動員案脫稿

【上海十三日發國通】豫て國民政府軍事委員會に於て立案中の國家總動員案は脫稿を終へたので次回の立法院會議に上程可及的速かに實施される

八十八師北停車場到着

【上海十二日發國通】十二日正午に至り中央軍第八十八師が蘇州から軍用列車で北停車場に到着、同驛附近一帶の後方警備についた、同軍は重機關銃その他の裝備を有し、夜に入るとゝもに支那側の構成陣形はますます增强されるに至つた

國民政府、官吏減俸令を發す

【上海十二日發國通】國民政府は十一日深更官吏の俸給につき年額勅任官八十元、奏任官六十元、判任官卅元の減俸令を發したと

引揚邦人千名今朝上海出帆

【上海十三日發國通】颶風のため出帆を一日延期した長江上流一帶の引揚邦人一千餘名は、十三日午前八時出帆の連絡船長崎丸及び九時出帆の上海丸で引揚の途についた

白系露人部隊に動員令下る

【上海十二日發國通】上海義勇隊グラハヌ少佐は上海義勇隊白系露人部隊全部に午後八時動員令を發した

居留民引揚完了

【上海十二日發國通】各路聯合會長林雄吉氏および民團復興資金部長松永禎三氏は、十二日午後十時十五分陸戰隊に司令官を訪問、北四川路一帶の日本人居留民は中部小學校に引揚げを完了した旨報告した

戰時豫算編成各方面から要望

對支情勢に順應戰時体制へ

【東京國通】北支をはじめ上海に及んで日支關係が頓に險惡化するに至つたので、政府は全力をあげて之が對策に努力してゐるが、今や各方面に於ても國内諸政策は悉く對支情勢に順應し、戰時体制をとるべしとの擧國的輿論となり、近衞內閣成立當時決定した編成方針に基き目下大藏當局に於て編成中の十三年度豫算編成に際しても、この際費用補助金其他の經費を厭搾し一段と國防費中心の戰時豫算の編成をとるべしとの議が閣內に於ても有力化した

南口の敵軍敗走

わが軍猛追擊中

敵は既に戰意を失ふ

【天津十三日發國通至急報】南口支那軍は津浦、平漢、平綏の三方面より十一日以來逆襲に轉じ津浦、平漢兩線では忽ちにして反擊せられ多大の損害を蒙つて敗退したが、難攻不落を誇る平綏線南口の嶮も十一日以來次々に陷落し十二日夜遂に南口鎭はわが軍の手に歸し敵は全く戰意を失ひ敗走中である、しかし更に後方陣地には支那軍續々集中しつゝあり、わが軍は更に息もつかせず猛追擊を行つてゐる

殘敵掃蕩のため南口鎭を再び砲擊

【懷來十三日發國通】南口に對峙のうちに不氣味な一夜を明した〇〇部隊は、南口鎭の舊市街方面に據りなほ頑固に抵抗中の殘敵掃蕩のため十三日午前六時を期し一齊に砲門を開き敵陣地に向け砲擊を開始した

駐屯軍司令部發表

【天津十三日發國通至急報】わが支那駐屯軍司令部發表＝〇〇隊は十二日早朝來南口附近の陣地を攻擊中なりしが、午後八時卅分南口鎭を完全に占據せり、この戰鬪における彼我の損害詳細不明なるも麥倉部隊長は軍傷（右大腿部骨折貫通銃創）を負つた、生命には別狀なし

南口攻擊の皇軍戰死傷者

【天津十三日發國通】十二日夜半までの南口攻擊の結果、十三日朝までに判明せるわが軍の戰死傷者數は左の如し

▲戰死　兵　七名
▲重傷　將校　一名　下士　一名　兵　八名
▲輕傷　將校　一名　准尉　一名　下士　三名　兵　二四名
合計　四七名

虎峪村占領

【天津十二日發國通】支那駐屯軍司令部午後九時發表＝〇〇部隊右翼方面は虎峪村附近一帶の地區を占領し、

南口攻擊戰將校重輕傷者

【天津十三日發國通】南口の攻擊におけるわが軍將校の重輕傷者は左の如し

▲重傷　麥倉部隊長
▲輕傷　大尉　下芝作造　中尉　恒岡登　准尉　中川欣一

日高參事官我が方針傳達

支那側飽く迄遁辭を構ふ

【南京十二日發國通】日高參事官は本省の訓令に基き十二日午後四時外交部に陳介次長を訪問、上海の事態に對する帝國政府の方針を傳へ事態の不擴大と和平解決のため國民政府において停戰地區內における武裝保安隊を撤收し、各種の軍事施設を撤去するやう申入れた、陳次長は事件不擴大については國民政府も全く同感なる旨を述べ、虹橋事件についても充分調査した上非が支那側にあれば責任をとるに吝かでない旨を述べ、保安隊については國民政府は陸戰隊との衝突を避けるため相當の距離まで既に撤收した旨述べた

上海全市に戒嚴令施行されん

【上海十二日發國通】上海駐屯のアメリカマリン、英、佛、伊各國駐屯軍及びわが陸戰隊司令官は午後九時より工部局に集合重大協議を行つてゐるが、この結果上海全市に戒嚴令が施行されるものとみられる

香港の英兵一ケ大隊上海警備に向ふ

【香港十三日發國通】上海駐在英國總領事の要求により香港駐屯のローヤル・ウエルチ聯隊の第二大隊（約九百五十名）は上海警備のため十三日英國船で香港を出發上海に向ふことゝなつた

佐々木少將赴任

第十六師團步兵第三十旅團長に榮轉の佐々木到一少將は、于治安部大臣はじめ後任平林治安部最高顧問、關東軍幕僚その他官民多數の盛大な見送り裡に十三日午前十時發はとで赴任大連に向つた

漢口の九十八師南京に下江

【漢口十二日發國通】漢口駐屯の第九十八師は十二日午前蔣介石氏より即時南京集結を命ぜられ全軍直ちに下江した

更に午後四時卅分頃老爺山に向ひ當面の敵を追擊中なり、左翼方面は午後六時南口鎭およびその西方高地に對し夜襲を開始す

保安隊根據地に市政府廳舍を提供

【上海十三日發國通】市政府は交通不便を表面の理由として佛租界に隣接せる楓林橋の舊市政府跡に移轉する旨十三日發表した、右は江灣にある市政府廳舍が保安隊根據地に提供されたためである

大前憲兵軍曹等行方不明

【上海十二日發國通】上海派遣憲兵隊憲兵軍曹大前旭（二九）および同隊通譯熊野敏夫（二四）の兩氏は、十二日午後零時十分頃北停車場附近で行方不明となり未だ沓として行方知れず、支那人に拉致されたものと認定される

岡朝日新聞寫眞班員行方不明

【上海十二日發國通】岡朝日新聞寫眞班員は十二日午後一時半頃北停車場附近に赴いたまゝ行方不明となり今なほ發見されぬ

今村少將赴任

步兵學校幹事に榮轉の今村均少將は來る十五日午前八時四十分新京發羅津に向ひ、十六日午前十時同地出帆の滿洲丸で赴任の途につくことゝなつた

に着任の挨拶をなす豫定である

政務處第一科長

外務局政務處第一科長廣瀨節男氏は今回日本外務省復歸に決定、近く發令の筈であるが後任は十三日左の如く發令された

外務局理事官　河野達一
外務局政務處第一科長を命ず

故田場盛義氏薦任四等に陞敍

過般通州において殉職した外務局事務官田場盛義氏に對して生前の功勞を賞で特に殉職の當日たる七月廿八日に遡り薦任四等に陞敍する旨十三日發令された

外務局事務官　田場盛義
陞敍薦任四等

笠原少將着任

駐滿大使館附武官陸軍少將笠原幸雄氏は十三日午後六時廿分着あじあで着京、直ちに驛貴賓室において出迎への日滿要人

人事往來

着京

▲池田長康氏　十二日來京ヤマトホテル
▲相磯藤雄氏（辯護士）同
▲宮木武夫氏（官吏）同
▲山田浩通氏（東亞印刷機械會社々長）同
▲田邊四郎氏（會社員）同
▲大淵堅吉氏（同）同
▲山中豐美氏（同）同
▲矢中快輔氏（同）同
▲南部憲一氏（貿易商）同
▲竹内信氏（辯護士）同
▲根橋禎二氏（滿洲輕金社長）同
▲森山德次郎氏（島津製作所）同
▲大河內正敏氏（理化學研究所長）同
▲中山榮氏（吉林省公署警務科長）十二日來京國際ホテル
▲岡崎俊雄氏（大同產業）同
▲岡本福三氏（商業）同
▲生島享氏（官吏）同
▲香取眞策氏（滿洲市場會社）同國都ホテル
▲大島勇氏（同）同
▲中根照夫氏（同）同
▲長瀨正己氏（商業）同
▲小宮龍男氏（サッポロビール）同
▲合田精一氏（會社員）同
▲土肥十里氏（教員）同
▲藤作安文氏（女子學習院講師）同
▲藤作守文氏（同）同
▲小松一市氏（會社員）同
▲北川勝夫氏（滿鐵）同
▲井倉勇氏（鑛山業）同
▲池田知賀良氏（錦縣市場會社取締役）同
▲並木芳明氏（滿鐵）同
▲久保七郎氏（會社員）同
▲梅原寅之助氏（產業組合中央會）同
▲島北三晃氏（滿鐵）同富士屋
▲池田秀藏氏（教員）同
▲木下秀教氏（滿洲林業）同
▲蓑島兵藏氏（横濱市壽小學校長）同愛國ホテル
▲高橋林造氏（同北方小學校長）同
▲安室晋治氏（同櫻岡小學校長）同

その日〳〵

□
曾つての上海事變に覆つた不安の雲は、今や又上海の上空を蔽ひつゝある。曾つての上海事變に覆つたのも戒めとならず、またそれを繰り返さうとするのか

□
躍り喚い大民族の英雄？の背後に、農民は强制されて土嚢を運んで居る

□
北支將領赤を恐れると、今となつてそれを言つても追ひ付くまい

□
われら先づ冀軍閥下の將兵を戰ひ取れり、赤軍首腦部はそれを謳つてゐやう

□
小學校二學期始まる、非常時下にも純眞なる童心よつねに明朗であれ

記事輻輳に付き「白い天使」休載

感激に震ふ一針

『縫はして頂戴、お願ひします』首にかけた兒童の献金箱等

巷に深む非常時色

婦人も子供もじつとしておれない……この眞心はいろんな形に現はれて銃後の佳話を産み彼處にも、此處にも非常戰時風景を映して街ゆく人を感激させ毎日新聞の社會面を賑はしてゐる

誰からともなく街頭に、集會場に、市場に、病院にまでもそして宵ともなれば新京銀座夜店通りには制服の處女や、着ながしの

奥様 方が千人の眞心こめた千人針を贈るため道行く、婦人に一針づゝを頼むゆかしい姿を見うけ辻々にはいたいけな小學兒童や女學生徒が「國防献金」の白襷を肩にかけ兵隊たちのために一錢でも

献金 お願ひしますと辻々にたつて大人の心を動かしてゐる……人出の最も盛んな宵の九時半中央通りから新京銀座に這入れば右も左も千人針の人群で身動きも出來ない、一枚の

胴巻 に五六名位の婦人がとり巻いて待つて一針でも二針でも縫つてゐる、お願ひします、縫はして頂きます、妾も縫ひませう、もう一つ、何とうるはしい姿ではないか、中には「義烈奉公」の文字の

縫ひ 込まれてあるのも見うける中央通りから東一條までまるで千人針攻めで御婦人方は進まれずぼんやり立つてゐるのは男ばかり市場の通まで來ると見

馴れぬ制服の女學生三人が日の丸國旗を捧げて街の

眞中 に並んで國防献金を募つてゐる「あなた方は青年學校ですか」……「いゝえ、吉林高等女學校一年生です」「吉林から新京まで派遣されたの？」「違ひます私たちは三人とも新京のものです、きのふから何か

お國 のため兵隊さんのためになることをと相談してこゝに立つて募つてゐるのです」といふ女學生徒は吉林高等女學校第一學年宇野文子さん外二名であつた（寫眞は吉野町の非常時色）

白菊校同窓會

白菊小學校では來る二十二日午後一時から同校講堂で第二回同窓會を開催するから同校出身者は會費五十錢持參多數參加を希望してゐる

北支事變勃發以來全國的に此の種、國防献金、慰問袋等は夥しい數を示し、我帝國臣民上下が如何に銃後の赤誠を盡して居るかを如實に反映して居り、且支那側の暴戻慘虐なる行爲に極度の憤滿を秘めた無氣味な緊張が窺はれて居る今回の滿洲國協和會が日滿一德一心の情誼に基き滿洲國構成の五民族より弘く淨財を集め友邦日本へ傷病兵輸送の飛行機を献納すべく計畫したことは將に時宜に適せる快擧と云ふべく、新京居留民、分會員はもとより一般市民に於かれても奮つて淨財を投ぜられたいと尚献納金は新京居留民會並に各班長宅にて受けることとなつてゐる

明朗東亞を建設

三十萬市民集合し國民大會

協和會首都本部で準備中

北支の戰雲次第に形勢惡化し今や日支の全面的衝突を惹起せんやも圖られざる狀態に立ち到り日本朝野は擧國一致銃後の熱誠を示してゐる、事變勃發以來、その成行きを靜觀し來つた滿洲國では局面の擴大深刻化と共に日滿一心一體の建國精神に立脚して滿洲國民として更に一大覺醒を要する秋に到達した、こゝに於て滿洲協和會では建國精神の普及徹底と皇軍絶對支持後援の實を發揮すべく全滿省本部を中心に國民大會を開く事となり、先づこれがトップを切つて協和會チチハル省本部が大會を開き大いに氣勢を揚げたが、これに呼應して各地に於て續々開催されるものと見られる、首都新京に於ては二十三日前後大同公園に三十萬市民集合して『國民大會』を開き明朗東亞の建設に全亞民族の提携を高唱マイクを通じて、これを中外に放送する豫定のもとに目下着々準備を進めてゐる

三笠校御下賜勅語謄本傳達

三笠小學校に御下賜の「教育ニ關スル勅語」の謄本は十四日午前九時滿鐵新京支社で地方課長から辻學校長に傳達され學校長はこれを捧持して學校にいたり同日午前十時から學校で奉戴式を擧行する

簡閲點呼で賞詞 事情を押切り 係官感激す

十三日の簡閲點呼執行に家族の不幸を顧みず時局の重大性をよく認識して敢然參加して池の上執行官から賞詞を授與された第五分會の二人の模範者がある

美談の一人は經濟部の權度檢定所に勤務の内野利三君で、同君の令息は一ヶ月餘前から病氣で入院加療中のところ十三日死亡したのに拘はらず一切の私事を友人に依賴して點呼に參加して係員を感激せしめた、いま一人は後備役陸軍歩兵上等兵藤田留吉君で同君は十三日來妻女危篤の重態に陷り速かに入院手續を要するに私事を捨て點呼に參加した兩人とも執行官より賞詞を授與された、今次の簡閲點呼で召集者が何れもハリキツてゐる證左ともみられる

協和會の計畫 民會も賛同

傷兵輸送機『協和號』献納 資金を民會でも集む

新京居留民會に於ては協和會の計畫たる傷病兵輸送の飛行機『協和號』献納に全幅の賛意を表し協和會居留民分會各班長に通達し全會員より献納金を募集することになつたが

協和會聯合分會

首都六十一分會代表を集め十三日會館會議室で

協和會首都本部所屬六十一の分會代表を集めた首都聯合分會總會は十三日午前九時から協和會館會議室で開催、田邊首都本部長の開會の辭あつて各分會提出の多數議案を審議正午休憩、午後も會議を續行した（寫眞は聯合分會々場）

身代金要求 調査團拉致匪が 目下追擊中

滿鐵調査團一行を襲擊拉致せる平西匪は十日太々しくも古川重夫氏を柳河に歸還せしめ身代金として一名につき一萬圓を要求し來つたので、日滿軍警はなほも追擊の手をゆるめず目下包圍中

豚コレラ發生す

南關小南嶺東街に防疫陣極度に緊張

南關警察署管内に相踵いで二頭の豚「コレラ」が發生首都警察廳夏の防疫陣を緊張せしめてゐる、問題の豚は南關小南嶺東街門牌五十三號　倰德及び同三道河子東盛五條胡同門牌五十三號吳起興方の飼ひ豚で共にバークシヤ雜種何れも九日發病すると翌十日朝ころりと斃死したがあまりあつけない死に方に不審を抱き早速其旨首都警察廳に屆け出た同廳衞生科から中野獸醫が現場に急行同獸醫執刀のもとに解剖に附して見ると内臟器官の諸狀況はまぎれもない豚コレラと決定したので大騷ぎとなり屍體は直ちに市公署衞生隊の手で燒却處分すると共に附近の大消毒を行つたが傳染系統は目下のところ全然不明である同廳では家畜ばかりでなく萬一罹病の豚肉が市中に搬入されゝば人體にも傳染恐るべき危害を及ぼすところからこれが徹底的防疫のため今明日中に南關一帶の豚及び家畜類に對し檢疫並びに豫防注射を施行することゝなつた

日本學術協會大會 二十二日開會 新京では廿七日特別講演

學界の權威者を網羅する日本學術協會第十三回大會は廿二日から大連、奉天、新京で開催される、參加者日本官公私立各大學總長、學長、各部長其他關係者約二百餘名にて日程は廿二日大連に於て大會開催、廿三日旅順工大にて部會講演、廿四日南滿工專にて特別講演、廿五日奉天見學、廿六日滿洲醫大にて部會講演、廿七日新京西廣場滿鐵俱樂部に於て特別講演、廿八日より見學旅行に移るが、最初のスケジュール北支方面は時局柄取止めハルビン、熱河方面を視察することに變更された、なほ同大會は滿洲では全く最初であり斯界の權威者一堂に會し含蓄を披瀝されることは滿洲學界に一大貢獻を齎すものと各方面から多大の期待をかけられてゐる

『やあ君、久し振りだネ』

暑休あけ第二學期始まる

やあ君、久しぶりだネ、十三日から第二學期が始つた、小學校では男兒も女兒も先生方も眞黒に燒けた元氣そうな顔して四十日振りに勢揃ひした、面白かつたこと珍しかつたこと、悲しかつたこと、始めて見た内地の土產話などに耽つてゐる間に午前八時半集合の合圖があり、それぞれ校庭に整列久し振りに校長先生の挨拶や時局に關するお話があつて神社參拜、忠靈塔お詣りと一旦學校にかへり校内大掃除を終つて午後は隨意下校した（寫眞は久々の學生等）

皇帝陛下御一族の恤兵慰問金

畏き御關心に恐懼

北支事變の推移に深甚の關心を寄せられ成行を御注視あらせらるゝ皇帝陛下の御妹君二格姫（現新京特別市興運路郷氏夫人）は金百圓を恤兵慰問金として、また皇帝陛下の御一族にあたらせらる溥儉、溥僖、毓嶦、毓嵒、毓憲、毓蟾氏は毎月の學資として賜はる二十圓づつをそのまゝ皇軍慰問金として十二日献金されたが皇帝陛下御一族におかせられて斯の如き御關心を有せられ一般國民に率先して御献金なされたことは各方面で恐懼してゐる

張總理献金 官吏の總意だと賞讃さる

張國務總理は北支に活動する皇軍將士に對し謝意を表し十二日金一萬圓を關東軍に献金したが滿洲國官吏の總意を表現した美擧として賞讃されてゐる

三道河子の和尚 實は靴泥棒

十三日午前八時半頃羽衣町四丁目十六番地山崎尚氏方を訪れた支那人托鉢僧が經文をあげてゐたが、折柄近所の須崎某妻女が同人の動靜に不審の點あり調査したところ玄關先に置いた靴二足（時價二十五圓）を竊取されてゐるのを發見早速屆出管下派出所員が逮捕取調べると頭陀袋の中に竊取した靴を入れ素知らぬ顔で南無阿彌陀佛を唱へてゐた生臭坊主山東省生れ現住所二道河子民風路二五道街二號全神寺和尚穆德（三八）であつた

日滿間の直通運賃を單一化す

從來の合算制を廢して十一月より實施豫定

鐵道總局では多年の懸案たる日滿交通ブロックの强化をはかる見地から内地、朝鮮、滿洲をつなぐ小口扱貨物の直通運賃を制定すべく、かねてより鐵道省朝鮮鐵道局、各船會社の關係運輸機關との間に種々折衝を重ねて來たが、このほど最後案の決定をみるに至つたので近く當局の認可をうけ遲くも十一月までには實施する運びとなつた、右直通運賃制度は從來の日滿間合算制運賃を廢して新たに直通單一運賃を特定し、日滿貨物取扱の簡易化をはかるとゝもに貿易の進展に寄與せんとするもので、これが實施は各方面より待望されてゐる なほ右直通運賃率は品目により多少の差異はあるが、平均して從來の合算制運賃に比し二割程度の大巾の引下げとなり滿洲における日用雜貨の價格騰貴緩和に多大の貢獻を齎すものとみられてゐる

島田氏遺骨着連

通州殘虐事件に際會し保安隊の毒刄に殪れた通州特務機關囑託、元三江報社長島田不朽郎氏の遺骨は、義弟刈田茂氏ほか一名に護られ十四日長安丸で着連の筈である、なほ大連市青雲臺五〇の留守宅には夫人君子さん始め華惠（六）里滿（四）曉（二）曠（二）さん等四人の遺兒がある

祖國に向ふ 三十一勇士 遺骨

十二日夜から太子堂でお通夜を營まれた三十一勇士の遺骨は十三日午前十時半發列車で關東軍幕僚在鄉軍人國防婦人一般市民多數の見送り裡に祖國に向つて無言の凱旋の途についた

滿軍も献金

拉濱線小城子駐屯滿軍騎兵第〇團長騎兵上校田春風以下將兵一同は、北支における皇軍の奮戰に感激慰問金百六十八圓二十錢を醵出、十日新站〇〇部隊を通じ献金方を申出た

小西法律事務所

辯護士辯理士小西會一法律事務所は設備を整へるため西七馬路第一朝日ビルに移轉、電話は二―五三二四番である

あすは彩票開票

あす十四日は財政部發行第卅回緝民奬券の抽籤日である一萬圓の頭彩三本よ何處へ行く彩票ファンの待望の日だ

競馬第七日目

あす十四日は秋季第一次新京競馬の殘りの日で明後日の日曜へかけて二日つゞく例によつて賑ふことだらう

あす（十四日）

▲簡閲點呼第十一日
▲緝民奬券開彩
▲北支事變講演會、午後一時協和會館
▲故田場、藤澤兩氏告別式、午後二時、妙心寺
▲秋季第一次競馬第七日

今晩の主なる演藝放送

▲七・三〇室内樂「ヴアイオリン」（東京）東儀哲三郎外▲八・〇〇長唄「石橋」（東京）杵屋六左衞門外▲八・二五浪花節「大石内藏之助山科の血淚」（大阪）京山小圓

演藝映画

南風薩摩歌 けふからの銀座キネマ

銀座キネマ十三日よりの番組は左の如く新興一番線に、漫畫、ニユースを配した編成である

▽新興京都「南風薩摩歌」市川右太衛門主演の時代劇として牛原虛彦が最初のメガフオンをとる作品、海音寺潮五郎の原作に基き、西南戰爭を背景に描き出される薩摩の快男兒逸見十郎太の悲壯な敗戰と、この砲煙の最中に咲いた眞紅の戀物語り、山田五十鈴、月田一郎、淺香新八郎、南部章三、荒木忍、小泉嘉輔、原聖四郎、芝田新、國友和歌子、梅村蓉子等助演

▽同大泉「女性の勝鬪」陶山密のオリヂナルものによる戀愛物語、河津清三郎、高野由美、平井岐代子、川上朱美、高津慶子、眞山くみ子、松平龍子、田中筆子、御影公子等新興キャストに岩田祐吉、藤野秀夫等松竹からの特別出演、更に清水將夫、大友壯之介、植村謙二郎、大井正夫、田中春男等新進古老の助演、監督は曾根千晴

支那を背景の二戰爭映畫

日支風雲愈よ急なる時、支那に重大なる關心を持つ英國が支那を背景にし英陸戰隊の活動を劇化した「英國爆擊隊」（假名）とスパイ戰を取扱つた「國際間諜戰軍用列車爆擊」の英ゴーモン・ブリティッシュの二戰爭映畫が近く三和商事映畫部に入荷することゝなつた、前者は監督ラオル・ウオルシュ、主演ウオーレス・フオード、アンナ・リー、後者は監督ハーバート・ヒンコックス、主演はピーター・ローレ・マデレーヌ・キャロル、ロバート・ヤング等

國際映畫製作計畫 デュヴィヴィエを招き

ファンク博士に依つて完成された第一回國際映畫「新しき土」が豫想外の反響を歐洲各地に惹起してゐる折柄、東和商事では豫てより第二次作品製作の腹案を以て渡歐せる川喜多代表の歸朝により早くもその企畫を進めつゝあり、この第二次作品にはファンク博士の再招聘が噂されゐたが、川喜多氏が滯歐中極秘裡に交涉を進めてゐた巨匠ジュリアン・デュヴィヴィエ監督と契約成立し、今秋或は明春早々デュヴィヴィエ監督の來朝を俟つて直に着手される事となつた、主演には原節子再起用說もあつたがこれは全然望み薄で新たに恰好な主演女優を物色の筈である

さぼてん

大經路五馬路交叉點に〃つる家〃と言ふおでん屋が開店した▼ゆつたりとした店、十四日からビール一本つき出し付三十五錢でサービスするさうだ▼經營主は中島富子さんとか言ふ丸まげの人である、彼氏の有無は聞き忘れた▼女將は『異鄕にある人々のともすればすさみがちな氣持ちを慰め鄕里の家にでも歸つたやうな感じに—』とサービスの信條を述べてゐる▼こゝにみどり、菊枝、みち枝と言ふ三人のサービス孃がゐるが、いづれも相當な人、愉快にさせることはうけあへる、こゝに名前だけ發表しておく

雜音

銀座キネマ寫眞替り「南風薩摩歌」と「女性の勝鬪」を組んで强氣なプロである▼長春座「土屋主税」の初日はいゝ入り、「婚約三羽烏」はとも角RKOの「森の勇者」などが案外にうけてゐるやうだ▼新京キネマはあすから阪妻の「戀山彥」と「美人賞」の日活プロが揭る、こゝの邦畫プロとして最上級のものであらう▼豐劇には入江の「白薔薇は咲けど」があつて張り切つてゐる態だ

土曜　癸酉　先負　除　柳宿　八月十四日　舊七月九日

●一白の人　事業着々として進行し大に功績を擧ぐべし　乙と丁と乾が吉

●二黑の人　商賣懸引に喰違あり殊に遠行は警戒すべし　丙と申と壬が吉

●三碧の人　定業に專念すれば利益相當に上る平安の日　申と乙と申が吉

●四綠の人　平運を保てども金錢出入には注意すべき日　甲と乙と申が吉

●五黃の人　緊褌事に當るべしと雖新事は計畫す可らず　坤と癸と丑が吉

●六白の人　衰運甚しく大害を蒙らん萬事進むに凶なり　丁と庚と癸が吉

●七赤の人　浮沈甚しく愼重ならざれば過ち多かるべし　乙と辛と丑が吉

●八白の人　榮耀榮華は一時の夢と消ゆべし病氣難注意　丁と申と癸が吉

●九紫の人　大望は挫折するも日用の事は順調に進展す　申と辛と癸が吉

▽▽戀山彥△△　日活京都、阪東妻三郎の日活入社第一回作品で、マキノ正博が同じく日活入社第一回監督としてメガフオンをとつてゐる、原作は吉川英治のものにより比佐野武が脚色、妻三郎主演の外に多摩川より花柳小菊が特別出演、尾上菊太郎、大城龍太郎、澤村國太郎、河部五郎、市川百々之助、原駒子、深川波津子、櫻木梅子等が助演、名笛「山彥」をめぐつて徳川隱密、勤王の志を抱く山塞の落武者、これに秘やかな思ひを抱く美女等入り亂れて描く大衆物語り、新京キネマ十四日封切

「名畫スーヴニール」　日時 十一日から三日間　場所 新京キネマ

讀者優待券

本券持參者に限り入場料五十錢のところを二十錢引(但大人一人一枚限り階下に限る)

新京日日新聞社

「名畫スーヴニール」　日時 十一日から三日間　場所 新京キネマ

讀者優待券

本券持參者に限り入場料五十錢のところを二十錢引(但大人一人一枚限り階下に限る)

新京日日新聞社

上海の支那銀行 事實上支拂停止
預金拂戻しを二割內に制限す

【上海十二日發國通】支那銀行の內容極度に惡化し金融恐慌をおそれられてゐる折柄十二日朝以來一部支那銀行は預金の拂戻しを總額の二割內に制限してゐる模樣で、事實上モラトリアム實施に等しい狀態を現出してゐる

哈鐵管內 大豆取扱ひ高

昨年十月より本年七月に至る十ヶ月間における哈鐵管內大豆取扱高は

混保大豆	二〇、三二〇車
普通大豆	一一、三四〇車
豆粕	一、九一四車
合計	三三、五七四車

昨年度產北滿大豆總出廻豫想高五四、四四四車に對し、すでに六割を突破してをり、これに現在管內滯貨一、九三七車を加へて實に六割五分三厘の壓倒的數字を見せてゐる、本年度取扱高は圖佳線により江豆を割讓しても大體昨年度と同量乃至それ以上の取扱と見られる

新京郊外に計畫の 力行村の概要
三十戸の自由移民を入植

日本力行會が新京郊外に建設せんとする新京力行村の建設要綱は次の通りである

一、場所及び交通
新京の東方、吉林街道により新京の中心より大凡十二粁の地點、海軍無電台に近い

二、地形と地質
石碑嶺丘陵の西北にある岡に圍まれた盆地で、一部は岡、一部は平地、北方及び西方には小川がある、地質は新京郊外の內では先づ上等の方で各種農作物栽培に適してゐる

三、面積と戸數
一戸當りの分讓面積は約二町步で第一期の計畫として三十戸を入植せしめるので總面積は大體百町步位になるが都合ではそれより廣くなり戸數も增すであらう

四、入村者資格
身體健康で農業勞働に耐へ、なるべく蔬菜園藝の經驗を有し勞働力を有する家族を多く有すること、また手持資金約六百五十圓を有すること、なほ產業組合に經驗を有する者家畜の飼育、農產加工に經驗を有する者を歡迎してゐる

五、營農方針
蔬菜園藝を主とする集約農業で大體に蔬菜を主とするが、村民の營農力、特技、市場の關係等を考慮し、養鷄、養豚、搾乳、種苗供給、農產加工等の副業的方面に進展する、土地は一戸方三町步とし內三反步を屯地、農道、灌水路、防風林等に當て、二町七反を耕作する、各戸經營を本體とするが加工、貯藏、販賣、購買等共同した方が利益のものは產業組合でやる、家族の勞働力は一人半につき馬一頭とし不足の分は常傭一人を置く豫定であるが、勞働力を有する家族の多い方が好都合である作付は當年度は葱、馬鈴薯、甘藷、大根、雜菜等で一町七反、普通作(大豆、高粱、陸稻、粟、玉蜀黍)を一町步位とし、第二年度から普通作を減じて高級作物を增加し、三年目からは二毛作をやり始め四年目には三町五反位耕作する豫定である

六、營農資金
一農家の所要資金は大體次の如くである

イ、土地代三町步分反當五〇圓	一、五〇〇圓
ロ、住宅十五坪坪當四〇圓	六〇〇圓
ハ、井戸(二戸共同)	二五〇圓
ニ、農畜舍一〇坪、坪一〇圓	一〇〇圓
ホ、貯藏庫一五坪、坪一〇圓	一五〇圓
へ、馬車及農具一式	二〇〇圓
ト、共同產業施設一戸分	五〇圓
チ、家畜、馬、豚、鷄等	一五〇圓
小計	三、〇〇〇圓
リ、流通資金	五〇〇圓
小計	三、五〇〇圓
ヌ、渡航費三人分	一五〇圓
合計	三、六五〇圓

七、資金の調達は次の方法による

イ、政府の補助金(拓務省)	五〇〇圓
ロ、滿拓融資	二、五〇〇圓
ハ、手持資金	六五〇圓

政府の補助金は渡航費として二〇〇圓、營農資金として三〇〇圓、合計五〇〇圓であるがこれは村民に直接渡さず本村產業組合の持分に振替へる滿拓からの資金は本村產業組合が滿拓から借入れ組合に貸付けるのでこれも現金でなく土地、住宅、井戸、農畜舍、農具、家畜等で渡す、年利六分五厘、二十ヶ年年賦拂

朝鮮に於いても 產金奬勵實行
旣に豫算は議會を通過す

【京城支局】半島金鑛業は玆數年來躍進的發展を遂げ來つたものであるが更に全面的進展を促す爲め產金奬勵補助金制度を擴大する必要を認め總督府は差當り今次議會に追加豫算として要求中の處六日議會の通過を見た、その總經費は四十萬三千圓の多額に上り其の內譯

金探鑛奬勵補助金	九萬六千圓
鑿岩機設備補助金	十八萬八千圓
選鑛場補助金	七萬三千圓
金鑛業共同施設費	四萬六千圓

にして從來かつて見ざる積極的助成の方法を講ぜんとするもので更に來年度以降に於いては前記奬勵金の增額其の他各種奬勵政策を講ずる豫定である、總督府鑛山課に於ては早速右追加豫算の施行に關し調査に着手してゐるが補助額は豫算の範圍內に於て大體設備の三割乃至五割程度の補助をなす見込みである

歷史上に見られる 暴利の取締り (三)
封建時代の實例

次は天保の改革について、一、二此方面のことを述べて見よう

天保の大改革

天保年度に於ける幕府の財政難を救はんとする爲めになした惡貨の極端な濫發は、物價を天井知らずに暴騰せしむる直接の原因を作つた爲めに國民は非常な苦しみをなめる事になつたが幕府は其罪全部が之れを賣買する商人が暴利を貪る爲めであるとして、之れに極端な彈壓を加へる事にして、物價引下の御布令を次から次へと發布したのである

其の結果として、天保十二年十二月十三日には從來幕府が相當の保護を與へて作らした十組問屋、即ち實業組合の解散並に組合に加入せざるものも、自由に開業して安賣勝手たるべき事とし、以て買占め賣吝み値待ちを嚴罰に處する事にし、同業者は相競うて安賣りをさせんと企てたのである

斯くして賣値を下げたものは、直ちに店頭に張紙をして張出させる事にし、次ぎから次へ値下した場合は、其上へ〱と張出さす事にし、紙が多くなる程良かつたとの事であつた、而して此値下げの命令については、當業者の外、町名主附添を以て奉行所に呼び出し玆で直接談判の結果値下げの御請けをする承諾書を差出さす事にし、若し其後之れを實行して居ないものがある場合には、之れに嚴罰を科する事にして居つたから其の場合には名主まで連坐せしむるといふ全く連帶保證的の恐喝的値下げを强要したのであつた、而して之れを實行して居るか否かを常に密偵を入方に派して、買試めしを行ひ調べさせて居たから商人として堪らなかつたのである

同時に幕府の方では何時でも臨檢を行つて、其仕入値段や賣値を糺す必要があつた爲め、各商工業者で備付けて居る帳簿に其商品の値段を符丁を以て記入する事を嚴禁する旨の布令を同十三年十月八日に出して居るのである、これは如何に密偵でも何んでも符丁では誤魔化される恐れがあつたからである

從つて各商品には總て原價と賣値を付けて置く樣にと嚴命を下したのであつた、斯くしても尙ほ値段を下げる事が出來ないならば、其理由を申出づべし、若し原價が高くて安く賣れないとあるならば幕府の方で卸主の方に掛け合つてやるとまで御布令を出したのであつた

然るに其の結果商人の方では折角商品を仕入れて賣つても、利潤に色々な制限を附される樣な事では商ひは出來ないと殆んど申合はせた樣に、仕入を見合はす事になつた爲め、江戸に於ける物資は玆に大拂底を來たす事となつた爲め、幕府でも之れには大狼狽を來たしたとの事である(完)

全鮮手形交換高

【京城支局】京城手形交換所調査全鮮各手形交換所七月の手形交換高は二十五萬二千六十九枚、一億五千七百六十三萬六千餘圓で前月より一萬二千六百二十五枚、一千四百三十八萬一千餘圓を各減少し更に前年同期に比すれば三千九百三十三枚減じたが金額は八百七十三萬一千餘圓を增加した、各交換所別左の如し(單位千圓以下切捨)

	枚數	金額
京城	一三四、六三〇	一〇一、六一〇
仁川	九、六二四	六、一六〇
釜山	三九、三七四	二〇、六五〇
平壤	三〇、四四九	一三、九八一
元山	一九、六三八	三、二三〇
大邱	一〇、六九九	三、八三九
木浦	三、六四二	二、一七〇
群山	七、九三七	三、六三五
鎭南浦	四、〇七六	二、四六六
合計	二五二、〇六九	一五七、六三六

朝鮮牛皮の品質保持努む

【京城支局】朝鮮產牛皮は軍需品原料及加工用品原料として特に堅牢であるため重要視され每年三百五十萬斤乃至四百萬斤、百六十萬圓乃至二百萬圓前後の粗皮が內地の各工場に向け移出されてゐるが從來朝鮮には正式の敎育を受けた獸醫が極めて僅少であり畜牛の罹病した際には牛醫と稱する者が各地にゐて投藥施療をなさずに場所をかまはず針を刺してゐるので屠殺剝皮した際針痕が各所にあるので之れがため市價を低下せしめ加工上に多大の影響を及ぼしつゝあるに鑑み總督府では近く公布實施の運びとなつてゐる獸醫師規則に基き今後牛醫の針刺を一切禁止して朝鮮牛皮品質の保持に努めせしめることとなつた

朝鮮の農事試 種畜場を擴充

【京城支局】半島農業の開發並に農事改善の普及徹底及有畜農家の增設を期せしむるに各農事試驗場並に種畜場の擴充強化を圖ることは現下の狀勢より見ても最も緊急且つ重要問題であるため農林局では過般總督府で開催された各道農務課長及び農事試驗場長並に畜產主任官會議の席上に於いて種々協議された結果に基き明十三年度より國立農事試驗場の陣容を擴充して優良農作物種子の更新農耕法施肥試驗を確實に行なはしめ、また種畜場には各種優良家畜及緬羊の種畜を飼育せしめて目的の完成に邁進せしむることになり之れに要する經費もそれぞ〱計上されてゐる

國際資源戰と 我國の立場
持てる國と持たざる國

原料資源確保の問題は現今世界の最も重大な問題の一つとして數へられて居る、これは經濟的國家主義並びに世界を擧げて軍擴競爭が熾烈なこと等の事情を反映して、益々重大化してゆく傾向にある、之が爲め國際聯盟の

總會 ではこの問題がしばしば論議され、現在では聯盟內に原料品問題調查委員會が設置され、原料資源確保に關する廣汎なる問題が論議されて居る狀態であるが、我國としては、獨逸、伊太利の主張して居るが如く、天然資源分配の再調整を要求しなければならない立場に立つて居る、即ち纖維工業においては世界有數の我國も、棉花、羊毛、人絹、工業用パルプ等の原料品は殆んど全部輸入されて居り、鐵鑛、石油等の重要資源に至つてはその保有程度は實に微々たるものである、一方一九三二年以來、圓價の低落と產業の合理化を利して異常なる進出を示した我國輸出貿易は、各國の高關稅とか割當制の實施等によつて之が

伸展 は甚しく阻害されるに至つて居る、且つ一兩年前までは新市場として南米、近東方面に市場の開拓をすゝめて居たのであつたが、この方面においても邦品の輸入制限が行はれんとする情勢にある、その輸出貿易を維持してゆくには工業原料の確保が重要なる問題となつて來て居る、他方、我國人口は每年百萬人程度の增加を示して居る、最近に至つてその增加率は稍々減少の傾向にはあるが增加の趨勢は目覺しいばかりである、それにも拘らず我國の移民は歐米諸國より排斥されて居る、併しながら我國はかゝる外侮を受けながらも、各種產業の急激なる進步發達に依つて、この移民排斥を無視することが出來た、しかして、國家的經濟主義に立つ世界各國は自國產業保護に

躍起 となり、就中、市價低廉なる邦品の進出を極度に警戒して居る狀態である、かくの如く、國土狹隘、人口增加率は大、資源貧弱な我國としては一方において市場の分割々當、自由貿易、移民問題互惠的經濟調整問題の解決を圖ゝるとともに資源分配の再調整を要求するは必然的なる過程であらう

商況欄 (八月十三日前場)

海外經濟電報

倫敦金塊	六磅一九志六片〇〇
紐育金塊	三五弗〇〇〇
同銀塊	四四仙四分三
倫敦銀塊	一九片一六分三
同先限	一九片一六分二
孟買銀塊	五一留比八分五
スチール株	一一九弗八分一
アナゴンダ株	六一弗八分七

▲市俄古小麥

九月限	一弗一二仙二分一
十二月限	一弗一三仙四分一
一月限	一弗一四仙八分七

▲紐育棉花

現物	一〇仙四八
十月限	一〇仙一八
十二月限	一〇仙一三
一月限	一〇仙一七
三月限	一〇仙二六
五月限	一〇仙二八
七月限	一〇仙三一

▲印棉

ブローチ	一九六留比
オームラ	一八一留比
ベンゴール	一四七留比

▲カルカツタ麻袋

青筋	二四留比八分七
鐵筋	二二留比一六分二

▲外國爲替

英米爲替	四弗九八仙四〇
日米爲替	二九弗〇八仙
米支爲替	二九弗六二仙
日英爲替	一志二片〇〇
英支爲替	一志二片三一分七
日印爲替	七七留比二分一

金銀市況

●上海標金 本寄 ― 步 ―

爲替相場

▲上海爲替

		賣	買
▲日本向	第一回	一〇二、〇七五	一〇一、〇〇〇
▲倫敦向	第一回	一志二片一六分一	一志二片一六分五
▲紐育向	第一回	二九弗三三分一七	二九弗三三分一九

▲阪神日米爲替 賣 二八弗一六分〇一五 買 二九弗〇〇〇

▲阪神日英爲替 賣 一志二片一六分一五 買 一志二片三二分二一

▲滿洲中銀爲替

上海向	九七弗五〇仙
天津向	九七弗五〇仙
紐育向	二九弗八分一
倫敦向	一志二片

各地株式市況

▲東京株式(短期)

	寄付	大引
新東	一三六、〇〇	一三五、七〇
日產	四〇、六〇	四〇、五〇
鐘新	三二、五〇	三二、八〇
滿鐵	五四、四〇	五四、五〇
大新	五三、五〇	五三、四〇

▲大阪株式(短期)

	寄付	大引
大新	[illegible]	[illegible]
新東	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]
日產	[illegible]	[illegible]
日電	[illegible]	[illegible]

▲大連株式(短期)

	寄付	大引
五品	[illegible]	[illegible]
豆新	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]
滿鐵	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
日電	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]
日新	[illegible]	[illegible]

▲奉天株式(短期)

	寄付	大引
滿取	[illegible]	―
東新	[illegible]	[illegible]
大產	[illegible]	[illegible]
日品	[illegible]	―
五新	[illegible]	―
豆炭	[illegible]	―
北魯	―	―
日郵	[illegible]	―
新新	[illegible]	[illegible]
鐘毛	[illegible]	[illegible]
滿先	―	―
同鐵	[illegible]	―
同新	―	―
電甲	―	―
同乙	―	―
東拓	―	―
瓦斯	―	―
電業	―	―
化學	―	―

各地商品市況

▲大阪綿糸

	寄付	大引
八月限	[illegible]	[illegible]
九月限	[illegible]	[illegible]
十月限	[illegible]	[illegible]
十一月限	[illegible]	[illegible]
十二月限	[illegible]	[illegible]
一月限	[illegible]	[illegible]
二月限	[illegible]	[illegible]

▲大阪棉花

	寄付	大引
當限	[illegible]	[illegible]
先限	[illegible]	[illegible]

▲大阪人絹

	寄付	大引
當限	[illegible]	[illegible]
先限	[illegible]	[illegible]

各地特產市況

▲新京 現物(一石値段)

	寄	引	出來高
大豆	―	―	―
高粱	[illegible]	[illegible]	四車
小豆	―	―	―
玉蜀黍	―	―	―

●大豆

	寄	引	出來高
八月限	[illegible]	[illegible]	一〇〇車
九月限	[illegible]	[illegible]	一車
十月限	[illegible]	[illegible]	二車
十一月限	―	―	―

●高粱

	寄	引	出來高
八月限	[illegible]	―	五車
九月限	―	―	―

▲大連

●大豆

	寄付	大引
八月限	[illegible]	[illegible]
九月限	[illegible]	[illegible]
十月限	[illegible]	[illegible]
十一月限	[illegible]	[illegible]
十二月限	[illegible]	[illegible]
三四月限	―	―

●豆粕

	寄付	大引
現物	[illegible]	[illegible]
八月限	[illegible]	[illegible]
九月限	[illegible]	[illegible]

●豆油

	寄付	大引
現物	[illegible]	[illegible]
八月限	[illegible]	[illegible]
九月限	[illegible]	[illegible]

朝刊
【本紙朝夕刊十二頁】
本紙定價（郵稅共）一部五錢 一ケ月壹圓
廣告料金 普通一行 壹圓五拾錢 特別一行 貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用(3)三二〇五 營業局專用(3)三三〇〇
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 水越內之介

上海各處に猛烈な市街戰！

陸戰隊遂に砲門開き 支那軍に對し猛攻撃

〔上海十三日發國通至急報〕支那側はますます不法攻勢に出でたゝめ陸戰隊第五部隊はいよいよ砲門を開き支那軍に對し猛攻撃を開始した、時に午後四時四十五分

大河内司令官戰備を命ず

〔上海十三日發國通至急報〕敵の砲撃開始により大河內陸戰隊司令官は各部隊に對し午後四時十五分戰鬪配備につくべき旨を命じ、わが部隊は斷乎敵を沈默せしむべく勇躍配備についた、自警團、在鄉軍人團などもこれに協力、配備を固めてゐる

我軍艦猛撃開始

〔上海十三日發國通〕黃浦江に碇泊中の軍艦〇〇は楊樹浦方面の陸戰部隊援護のため午後三時四十分遂に砲門を開き敵陣地に猛撃を開始した

八字橋方面支那軍 果然射撃を開始

〔上海十三日發國通至急報〕午前十一時半八字橋方面の支那軍は有力な增援部隊を得て俄かに攻勢をとり、わが方に對し小銃、機關銃の亂射を浴びせつゝあり、わが方はこれを沈默せしむべく目下應戰中

〔上海十三日發國通至急報〕午後四時閘北の敵は西八字橋方面より山砲、迫擊砲でわが陸戰隊本部方面に砲擊を開始、わが軍は直ちに戰鬪配置についた

寶興路一帶を占據

〔上海十三日發國通〕十三日午後四時現在我軍は虹口クリークに沿ひ八字橋に至る線の土嚢構築に成功、敵の第一線から僅かに百米を距たる寶興路一帶を占據對峙中である

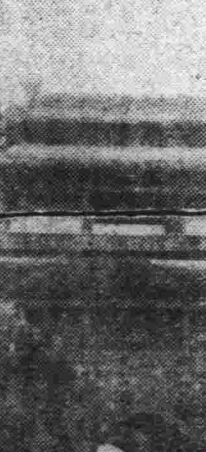
我軍の砲撃に沈默

〔上海十三日發國通〕海軍武官室午後六時卅分發表＝敵は午後四時頃西八字橋を爆破、同時にわが八字橋方面の部隊を山砲、野砲をもつて猛烈に砲撃し來れり、我はやむを得ず迫擊砲をもつてこれに應戰、敵を西方に擊退せり、わが方に死傷なし、八字橋北方の敵は目下沈默を續けつゝあり、敵の退却と同時にわが方は砲撃を中止し目下の形勢は小康狀態にあり、東部方面で敵は其美路の第二橋を午後四時ゝ爆破せり

皇軍北平に入城

一、廣安門より北平入城の〇〇部隊の〇〇部隊長
二、北平市地方維持會員に挨拶する〇〇部隊長
三、廣安門附近にて食事中の皇軍將兵

良鄉の支那軍 損害莫大

〔天津十三日發國通〕良鄉附近戰鬪の結果敵遺棄死體は二百を數へ、押收兵器は重機一、輕機三、小銃四十、彈藥八萬個に達した

滿洲映畫協會法 けふ公布さる

去る二日國務院會議に上程可決され十日の參議府の諮詢を了した勅令「株式會社滿洲映畫協會法」は、十四日左の如く公布され、昨年來懸案となつてゐた國策映畫作成會社はこゝに五百萬圓の資本を擁して華々しく誕生することになつた

▲株式會社滿洲映畫協會法

第一條　政府は映畫の製作、輸出入および配給の指導統制をなし映畫事業の健全なる發達を遂げしむるため株式會社滿洲映畫協會を設立せしむ

第二條　株式會社滿洲映畫協會は左の各號に掲ぐる事業を營むことを目的とする股份有限公司とす
一、映畫の製作
二、映畫の輸出入
三、映畫の配給
株式會社滿洲映畫協會は國務大臣の認可を經て前項の事業に附帶する業務を營むことを得

第三條　株式會社滿洲映畫協會は本店を新京特別市に置く

第四條　株式會社滿洲映畫協會の資本の額は五百萬圓とし、內二百五十萬圓は政府の出資とす

第五條　株式會社滿洲映畫協會の株式は記名式とし、一株の金額は之を五十圓とす

第六條　株式會社滿洲映畫協會の株式は會社の同意を得るに非ざれば之を他人に讓渡することを得ず

第七條　株式會社滿洲映畫協會の株金の第一回拂込の額は之を株金額の四分の一迄に下すことを得

第八條　株式會社滿洲映畫協會の株主は一株につき一個の議決權を有す

第九條　株式會社滿洲映畫協會に理事長一人、理事三人及び監事二人を置く

第十條　理事長は株式會社滿洲映畫協會を代表しその業務を總理す、理事長事故あるときは理事の一人その職務を行ふ、理事は理事長を補佐し株式會社滿洲映畫協會の業務を掌理す、監事は株式會社滿洲映畫協會の業務を監査す

第十一條　理事長、理事及監事は株主總會においてこれを選任す、理事長及理事の任期は四年とし監事の任期は三年とす

第十二條　理事長、理事又は監事は任期終了したる後と雖も後任者の就任ある迄その職務を行ふことを得

第十三條　理事長、理事及監事は國務總理大臣の許可を受くるに非ざれば他の業務に從事することを得ず

第十四條　國務總理大臣は株式會社滿洲映畫協會の事業に關し公益上必要なる命令をなすことを得

第十五條　國務總理大臣は株式會社滿洲映畫協會の事業に關し監督上必要なる命令をなすことを得

第十六條　株式會社滿洲映畫協會の理事長、理事及び監事の選任又は解任、定款の變更、合併及び解散、社債の募集並びに利益金の處分に關する決議は國務總理大臣の認可を受くるに非ざればその效力を生ぜず

第十七條　株式會社滿洲映畫協會は營業年度每に事業計畫を定め豫め國務總理大臣に提出すべし、その計畫に重要なる變更を加へんとするとき亦同じ

第十八條　株式會社滿洲映畫協會は國務總理大臣の認可を受くるに非ざればその事業の全部又は一部を廢止又は休止することを得ず

第十九條　株式會社滿洲映畫協會は國務總理大臣の認可を受くるに非ざれば重要なる財產を讓渡し又は擔保に供することを得ず

第廿條　國務總理大臣必要ありと認むるときは株式會社滿洲映畫協會をしてその業務若くは財產の狀況を報告せしめ又は所部の官吏をしてその金庫、帳簿その他の物件を檢査せしむることを得

第廿一條　國務總理大臣は株式會社滿洲映畫協會の決議が法令若くは定款に違反し又は公益を害すると認むるときはその決議を取消すことを得、國務總理大臣は株式會社滿洲映畫協會の理事長、理事又は監事の行爲が法令、定款若くは本法による命令に違反し又は公益を害すと認むるときはこれを解任することを得

附則

第二十二條　本法は公布の日より之を施行す

第二十三條　政府は設立委員を命じ株式會社滿洲映畫協會の設立に關する一切の事務を處理せしむ

第二十四條　設立委員は定款を作成し國務總理大臣の認可を受くべし

第二十五條　株式總數の引受ありたるときは設立委員は遲滯なく株金の拂込を爲さしむべし、前項の拂込ありたるときは設立委員は遲滯なく創立總會を招集すべし

第二十六條　設立委員株式會社滿洲映畫協會の設立登記を完了したるときは遲滯なくその事務を理事長に引渡すべし

西寶山路の敵を砲撃 民家の伏兵に火攻め戰術

〔上海十三日發國通至急報〕六三花園裏手の陣地によりわが第〇〇隊は虹口クリーク西方の敵の砲擊に斷乎應戰を開始し、八字橋附近の前線部隊は前進するとゝもに午後四時卅分西寶山路の敵に一齊砲擊を加へ、同時に定門橋外三百米の敵と交戰中、敵は民家によりわが軍に砲擊してゐるためわが軍は敵陣地に火を放つて火攻め戰術に出で附近一帶は焰々たる火炎に包まれてゐる

〔上海十三日發國通〕支那軍は八字橋の地區に放火した結果同地一帶に火災起り黑煙は折柄の東風にあふられ閘北一帶を蔽ふてゐる

商務印書館附近の支那兵 我軍に機關銃を發射

〔上海十三日發國通〕第六大隊發表＝十三日午前九時卅分頃商務印書館附近の支那正規兵は陣地構築中のわが軍に向ひ機關銃約六十發々射せるをもつてわが軍は直ちにこれに應戰、機關銃約十發を發射敵を沈默せしめたり、わが方は同方面に增援隊を派遣中

〔上海十三日發國通至急報〕敵は十三日午後一時より二時までの間に再び商務印書館方面のわが軍に對し機關銃をもつて攻擊し來つたので、わが軍はこれに應戰せず嚴重監視の態度をもつて對峙してゐる

便衣隊の掃蕩開始

〔上海十三日發國通至急報〕わが陸戰隊は十三日午前九時十五分より寶樂安路、北橫濱路方面一帶の便衣隊狩を開始した、支那側は早くもわが方後方攪亂をはじめ、陸戰隊本部附近の民家に入込み目下わが清掃隊と交戰中

〔上海十三日發國通〕工部局虹江警察署發表＝支那便衣隊は十三日午前九時十五分を期し寶山路、寶樂安路、施高塔路、狄思威路、子路に於て日本陸戰隊に對し發砲し、わが方はこれに對して隱忍自重發砲を避けんとしたが、遂に自衞上工部局巡警約百名を召集、これ等共同租界の治安を紊る卑劣なる便衣隊の掃蕩を開始した

〔上海十三日發國通〕十三日朝のわが陸戰隊の便衣隊狩りの結果、正午頃虹江路、北四川路の支那家屋より便衣隊を三名逮捕し目下陸戰隊で取調中

〔上海十三日發國通〕大河內陸戰隊司令官は十三日午後三時半虹口一帶にわたり便衣隊の掃蕩を命じたので、各部隊は直ちに吳淞路、東橫濱路、文路方面一帶にわたり大々的に便衣隊の掃蕩を開始した

〔上海十三日發國通至急報〕午後三時四十分頃虹江路、北四川路の交叉點に當る舊雲仙閣前方に潛伏中の便衣隊は又復機銃、小銃等により攻擊を開始したのでわが軍は應戰中

〔上海十三日發國通〕中央軍の精鋭第八十七師が便衣でわが陸軍武官室附近に出沒したとの報に陸戰隊〇〇部隊は天壇路境界方面に出動し强力な掃蕩工作を續けた結果、其美路附近地區の敵部隊の巢窟を發見、これを完全に殲滅した

〔上海十三日發國通〕其美路方面で便衣隊淸掃策に成功した陸戰隊〇〇部隊は、引續き狄思威路、北四川路、虹口クリークに圍まれたる三角地帶に出沒する便衣隊を殲滅するためさらに〇〇部隊、〇〇部隊を出動せしめ淸掃に當らしめた結果、同附近一帶の便衣隊掃蕩に成功した

“上海の治安攪亂は支那に責任あり” ＝海軍武官室發表＝

〔上海十三日發國通〕十三日午後六時海軍武官室發表＝本多武官は午後三時川越大使を[illegible]望した、續いて支那側某有力者と會見、わが方の平和的解決の希望を開陳し支那側の善[illegible]的解決を希望するこ

とは右會見によつても察知し得るところであるが、支那側はわが方のかゝる意圖を無視して本多武官が和平解決を希望して歸るや否や八字橋を爆

擊し、迫擊砲その他による砲擊を開始し、午後五時挑戰行動に出でたゝめわが方もやむなくこれに應戰するに至つた

上海の治安攪亂の責任は全く彼にありとせねばならぬ

滿洲映畫協會 設立委員任命

滿洲國政府は十四日附を以て滿洲映畫協會設立委員を左の通り任命した

株式會社滿洲映畫協會設立委員長被仰付　總務廳次長　神吉正一
總務廳企畫處長　松田令輔
同法制處長　松木俠
同主計處長　古海忠之
同弘報處長　堀內一雄
民生部次長　宮澤惟重
產業部次長　岸信介
經濟部次長　西村淳一郎
株式會社滿洲映畫協會設立委員被仰付（各通）
南滿洲鐵道株式會社總裁室監理課長　高田精作
同新京支社業務課長　中島宗一
株式會社滿洲映畫協會設立委員を委囑す

青雲路方面にも 銃聲盛ん

〔上海十三日發國通至急報〕十三日午後四時十五分頃より青雲路方面よりも機關銃聲しきりに起つてゐる、敵は各陣地にわたり一齊に俄然攻勢に出て來た

楊樹浦方面で 日支兩軍交戰中

〔上海十三日發國通〕戰況の進展と共に戰鬪は遂に東部工場地帶楊樹浦方面にも波及し目下同方面において日支兩軍は盛んに交戰中である

上海鄕軍召集令

〔上海十三日發國通〕大河內陸戰隊司令官は上海在鄕軍人會長の資格をもつて十三日午後上海在鄕軍人に召集令を下した、右命令に接した在鄕軍人〇〇名は目下〇〇に續々集合中

日本墓地方面延燒中

〔上海十三日發國通〕十三日午後四時頃陸戰隊西方日本墓地方面に火災が起り延燒中である、支那軍の燒夷彈により發火したものとみらる

英米旗艦 上海へ向ふ

〔上海十三日發國通至急報〕アメリカ極東艦隊旗艦オーガスター號およびイギリス・アジア艦隊旗艦カンバーランド號は十三日朝青島を出發して上海に向つたが、兩艦とも十四日朝上海着の豫定

南口鎭の皇軍 殘敵掃蕩中

〔天津十三日發國通〕南口鎭を占據して意氣軒昂のわが軍は、引續き鋭意殘敵を掃蕩中であるが、敵軍は意外に頑强なる抵抗を試み時に東北方高地守備の支那兵は執拗で目下激戰が展開されてゐる

偶語

北支の戰雲は今や全支に擴大せんとし日本朝野一致の銃後の努力は眞に國を擧げての熱誠を示してゐる▼國防の一線滿洲にあつても御國に盡す銃後の赤誠に變りはなく役所に勤める官吏も▼會社員も市民も生徒も兒童も男も女も老人も子供も唯愛國の一念に凝つて▼種々涙ぐましい挿話を織り込んだ國防獻金、恤兵金、慰問袋、千人針となり事變以來關東軍に屆けられた金額は總計二十三萬八千五百圓、慰問袋又五千を突破してゐる▼この赤心こそ千載不磨大和民族の眞髓として世界に誇るところ▼建國精神の普及徹底と皇軍絕對支持後援の實を發揮すべく協和會全滿に號令して國民大會を開かんとす▼時局柄最も適切なる快擧なり此の機に於て明朗東亞の建設に全亞民族の提攜を高唱されんことを

淞滬鐵路方面に 猛烈な銃聲

〔上海十三日發國通〕十三日午前十一時卅分橫濱橋西方の淞滬鐵路方面で再び猛烈なる銃聲が起りつゝあり、敵はますます挑戰的態度に出でつゝある

天通安路の我砲兵 砲擊開始

〔上海十三日發國通〕天通安路のわが砲兵陣地は十三日午後六時卅分前方の敵に向つて猛烈な砲擊を開始し目下砲聲殷々として上海全市を壓してゐる、敵はわが軍の猛攻擊に耐えかね退却準備中である

北停車場支那軍 河南路近くに進出

〔上海十三日發國通〕午後四時半北停車場方面の支那軍は河南路近くまで進出し來り、北四川路、把子路角附近警備中のわが軍はとみに緊張してゐる

寶山玻璃廠 目下燃燒中

〔上海十三日發國通〕午後四時四十分閘北寶山玻璃廠の敵はわが方に對し手榴彈をもつて攻擊を開始し、わが方もこれに應戰、寶山玻璃廠は目下盛んに燃えつゝある

我部隊を急派

〔上海十三日發國通〕十三日午後四時十分閘北にある寶山玻璃廠（日本人經營ガラス工場）附近の敵はわが方に對し攻擊を開始した、我方もこれに應戰中である、寶山玻璃廠は敵彈を蒙り目下盛んに延燒中、わが方〇〇隊長は直ちに〇〇部隊を同方面に急派した

社説
事態愈よ險惡

一

北に於いては中央軍の旣結協定を蹂躪した侵入と對日抗戰態勢が持續されてつひに南口に於ける交戰となり、南方上海に於いてはわが海軍將兵に對する支那保安隊の暴虐に端を發して風雲愈よ急なるものあるを告げてゐる狀態である。蘆溝橋事件勃發の當初より日本が取つて來たところの局面不擴大の方針は、支那側の不逞なる態度によつて遂に貫徹され得なくなつた。斯して捲き起された事態については其の責任全く支那側にあること明白であり、しかもなほ支那は反省することをなさず、愈よ戰備を進めてゐる有樣である。十二日夜の上海の情勢について發表されたところによれば、支那軍隊は續々上海附近に集中を開始し、吳淞附近より江灣にかけて戰備を整へ、租界閘北の境界線、各所道路上及び附近家屋の窓に土嚢を築き機銃を備へ狀況極めて緊迫、一觸卽發の姿勢にあるとの事である。而して十三日朝來、上海の形勢はもはや戰鬪行爲頻發の騷亂の中に引き込まれた。

二

一昨日開かれた停戰協定委員會の經過に見るも、支那側の不誠意は明瞭である。同委員會に於いて、保安隊の進出正規兵の上海入京等を指摘しこれらは明かに停戰協定違反であり上海の治安を脅威するものであることを述べたのに對して、兪上海市長は「本件は日支間の交渉によつて解決すべきもので本委員會の關係すべき事項にあらず」と答へ外國委員よりも日本側の治安維持に對する熱意を支持する要求ありとも受諾し得ず、南京に於ける外交々涉により解決を圖られたし、自分としては如何ともなし難く今や全く無力である」と述べたと發表されてゐる。斯くの如きは上海市長の職に在るものとして餘りに無責任に過ぎる言葉であり、市民生活の安寧を省みぬ放言として糺彈さるべきものであつた。

三

南京の外交擔當者はそれならばどうであるか。其處では對日決戰の强硬主張に驅せられて、何らの動きにも出得ずにゐる狀態でさる。わづかに數次の聲明等をもつてして、國民の前に虛勢を張り續けて來たにとどまる。諸外國に向つての策動等は、若し效果あるものならば大いに努めた事であらうが、今はその效果を生み出し得ない事を彼等は知らねばならなくなつたのであらう。今日の情勢となつてはもはやかの以夷征夷の策も施す餘地が無いのである。さらに聲明の發表等を彼等は行ふであらう…全國に於けるその實際の措置に誠意ある事態解決への努力が見られない以上聲明も無意味である。

國際思潮(5)
增長慢の支那を戒しむ

コロンビヤ大學敎授 極東評論家　ナサニエル・ペツフア

七

一九三一年以前に南滿洲に在つて作用してゐたやうな潮次的な日本驅逐を畫する排日は北支那においても働き始めてゐる。消極的抵抗は相當に有効なことを示してゐる。さうでないとしても支那はなほ行動の自由を持つてゐる。

これだけは斷言しうる。すなはち萬一支那が現在排日手段をとらうとすれば結局かれらが欲すると否とに拘らずまた成功の公算あると否とに拘らず、戰爭を招來するに至るであらう。

支那軍が日本を敵とするに足る大砲や兵員を擁してゐないことは明白だ。將來かれらがこれを有する日があるかも知れぬが、その必要のない方が更によい。蓋し日本と協定が成立するか若しくは明哲保身撤退してしまふかするだらうからである。だから日本軍に挑戰したり、無益な威嚇を加へたりその面子を汚したりすることは、しない方がよい。要するに、一九二八年以後の二の舞は避けねばならぬ支那が愼重なれば無暗に映える必要もなくなる。如何なる場合にもかうした挑戰態度を採ることは愚劣であり危險でもある。

支那はこれ以上讓歩できないとか、今後さらに日本が進出すれば支那は何ものを犧牲にしても抵抗せねばならぬとする主張はかりにこれが最も過激な支那青年の言であつても頭のよいことではない。この議論の價値は暫く措き、事實日本が無謀をやつて戰爭の危險を自ら犯らすことはない筈だ。

併し日本がかうした企圖に出でない限り現在最も弊害の少いのは現狀維持である。或は平和的手段によつて支那に組するであらう。

假りにこれが遲延したりその間支那にとつて不快なものがあつても、戰爭の失費に較べれば小さな代償である。人間的苦痛の最少額を支拂へば濟むのだ。支那にとつては苦痛の輕減がそれ自體目的である。最近二十年來における支那民衆の虐みの苦しみは洵に恐るべきものがあつた。今後五十年間を經て採算して見れば、多分支那は他のいかなる手段を以てするよりも、輕少な人間的損失を以て、より多くを獲得したことが貸借對照表によく現れるであらう。これが正しいとすれば彼らに違狀をしたり、非妥協的な言辭を弄したり、ヒステリカルにしたりして、このコースに不利益となるやうな行爲をなすことは賢明とはいへない。蓋しその結果、徹頭徹尾、支那が敗北するか、或は少くとも日本も困り、支那も倒れなければならぬ時期に戰爭を誘發する恐れがあるからである。

若し余が、支那人の行爲を律するとすれば、余の命令は簡單である。働け國家を堅實にせよ。冷靜を守れ。本命令は、十年間有效なるものとすと。

(附記)此論文は米國のASIA誌六月號にCHIAN MUNST NOT FIGUT NOWと題して掲載され支那の評論家から猛烈なる反駁を招き、我國でも諸方面で紹介されたもの、當否は兎に角、讀者の御參考迄に蒐錄した次第である。

閻、傅氏等北支將領 紅軍進入を警戒
容共政策に反對氣勢

【南京十二日發國通】支那共產黨は南京政府の容共政策に乘じ統一抗日國民戰線の結成を提唱、國共合作に成功するや紅軍を國民革命軍と改稱、去る三日以來陝西、山西、綏遠省境に向つて東進を開始、山西、綏遠地方より北進中の中央軍の後方に進出しつゝあるが、閻錫山、傅作義氏等同地方の軍閥は共產軍の進入による自己地盤の崩壞を極度に懼れ、南京政府の容共政策は亡國政策なりとして漸次反對氣勢を示さんとする情勢にあり、今後の中央對地方軍閥の動きは極めて注目される、卽ち

一、北上共產軍は曩に蔣介石氏より南京入りを慫慂された朱德を軍長とし南京より派遣の黃其祥を政治指導訓練所長とする五師二十團と賀龍、彭德懷、徐海東、林彪、蕭克の率ゐる五萬三千に加へ從來福建、廣東兩省に殘存して國共合作反對を叫び中央軍と抗爭中の傅秋濤を總隊長とする抗日游擊支隊により編制されたる强力部隊で、しかもソ聯より武器の供給を受け裝備は極めて優良その自動火器は中央軍を凌駕すると稱せられる

一、共產軍は假令國共合作により中央軍の統帥下に移され、南京政府に對して表面上忠誠を誓つたとは言へ、赤化勢力の伸張と自己の貪慾を滿たすためには手段を選ばぬことは過去の事實に徵しても明かであり、彼等が一度山西、綏遠を侵入すれば地方軍閥はその勢力の恢復には容易ならざる困難を來すこととなる

一、南京政府は地方軍閥の軍費要求に對しては未だ一度も滿足を與へたることなく一文の軍費さへ出し澁りながら共產黨懷柔のためには五百萬元の多額な軍費を投出させんとしてゐる等の諸事情より見て閻、傅氏等は對日抗戰は結局共產軍に乘ぜられることゝなり且つ地方軍閥勢力の崩壞を企圖する蔣介石氏の術策に陷る結果を招來すると看做し、前敵總司令に任命された傅作義氏の如きは既に戰意を缺き閻錫山氏もまた自ら出動の意思なく各々自己勢力の保持畫策に躍起となつてゐるものと見られる

城壁上で壯烈 白兵戰を展開
目覺しい皇軍の猛鬪振り
良鄕城戰場視察記

【長辛店十二日發國通】十二日午前記者は良鄕城に赴き逆襲し來つた中央軍を邀へて完膚なきまでにこれを叩きつけた皇軍奮戰の跡を詳さに視察した

良鄕城は一面の高粱畑にかこまれ城壁は高さ約三丈二重の城門を有する堂々たる城だ、支那軍は暗夜を利用して不敵にもこの城壁に梯子をかけ一擧に良鄕の奪還を企てたのだ、記者はまづ迂回して南門より城內に入る、軍は東西北の三門をとざしわざと敵に面した南門だけを十字に開き豪放な陣立をとつてゐる、樓上には大日章旗が翩翻とひるがへり城內を固める髭だらけの將兵の表情にも悠然たる落着がみえてゐる

城內に入ると民家は十二日拂曉の戰鬪に怯えたと見え、この暑さにも拘らず皆戶を閉して街路には人つ子一人見えぬ、軒每に急造の日章旗が揭げてあるのがちよつと微笑を誘ふ、○○部隊を訪れ部隊長の案內で敵の襲擊箇所をみせて貰ふ敵は裝甲列車を先頭とする軍用列車で北上、約二千の步兵は列車を棄てゝ良鄕城を包圍、城壁の東北角西北角に長い梯子をかけてよぢ上つて來たのだ、午前一時五分西北角城壁上の步哨が暗夜に**蠢動する**敵影を發見、拳銃火をあびせた、續いて東北角にも銃聲が響いた、急報に接して馳せつけた皇軍の將兵、あはてゝよぢ上る敵兵、城壁上に壯烈な白兵戰が展開された、閃きらめく劍光とゝもに敵兵は城の內外に突落されてしまつたのだ、白日のもとに見る敵の屍體は殆ど脚を挫いてゐる、そして胸部の突傷で絕命してゐるものが多い、城の內側に約四十、外側に百餘まざまざと壯烈な白兵戰がしのばれる

敵は皆完全な中央軍で立派な鐵兜を冠り胸には中央軍の徽章をつけ、その裏には「命惜しむべからず」「掠奪すべからず」と記してある、敵の裝甲列車は敵兵襲擊と同時に列車砲をもつて城內を砲擊、敵步兵を掩護してゐたがわが騎兵約五十騎は自ら正門を開いて群がる敵軍に亂入敵步兵蹴散らして長驅裝甲列車を襲擊したので裝甲列車は步兵を置去りに全速力で逃走してしまつたといふ、いつもながら賴しい皇軍の猛鬪振りである

水道、電燈、瓦斯 料金を免除
東京市が出征遺家族に
今月から實施する

【東京國通】出動將兵家族救援協議會を結成活動してゐる東京市では、十二日午前十時から三邊助役、磯村文書課長ほか關係各局、課長等集合協議の結果、出動將兵の遺族に對し電燈、水道、瓦斯、糞尿塵埃料金を全部免除することに決定、まづ差當つて軍事扶助を受けてゐる家庭には今月から實施、扶助を得ないものについては近く市會に諮つた上有產階級を除く全遺家族に實施することゝなつた

南口激戰の報に 獻金、獻品殺到す

【東京發國通】南口における中央軍との激戰の報に銃後の赤誠はますます燃えあがり、十二日はまたも陸軍、海軍への獻金、獻品の愛國人が殺到、いまや一千三百萬圓を突破係官を感激させてゐるが、十二日朝全露ファシスト黨東京支部代表在京白系露人バラブシュキン氏は黨員十六名及び同情者から募集した三百三圓を皇軍慰問、國防獻金の一部にと陸軍大臣宛書翰に添へて差出した、また日本銀行では結城總裁より給仕、小使さんまでが一丸となつて戰鬪機一機を獻納した、つぎは今回國防婦人會大船支部を結成した松竹大船撮影所スター田中絹代、飯田蝶子、桑野通子、吉川滿子さん等城戶所長にともなはれ女優さん達が心をこめて作つた慰問袋四百廿二個を持參した、この中にはブロマイドや慰問文等があふれてゐる

梁氏率先 活躍す
在東京半島人にも 獻金熱旺ん

【東京國通】北支事變以來在京半島人の愛國熱は俄然燃えあがり、ことに通州事件によつて更に加はり數々の轉向者純情美談も織りまぜ在京半島人中實に二割までは國防獻金をしてゐることが判り、係官達を感激させてゐる

在京半島人は現在五萬六千人ゐるが、この內十一日までに判明した獻金者の數は一萬千二百人、金額で二千九百五十五圓六十三錢、滿洲事變當時三年間に僅か二百六、七十圓の獻金しかなかつたのに比べると僅か一ケ月間に十倍以上の額に上り、如何に半島出身者が北支事變に關心をもつてゐるかゞ窺はれる、かつて獨立運動の指導者として上海事變當時反戰宣傳をやつてゐた梁相基氏が率先して廿圓の國防獻金をしたほか登錄人夫が一食ぬきで貯めた金三圓を獻金して來るなど日本人としての赤誠を披瀝してゐる、また反戰運動の巢窟ともいはれた○○會からも獻金、千人針の申込みがある等このところ半島出身の各團體は非常な緊張で擧國銃後陣に活躍を續けてゐる

產組中央會 北支皇軍慰問

【東京發國通】產業組合中央會では北支事變に對し全國一萬五千の產業組合及び六百萬組合員を動員し、もつて銃後國民生活の安定、軍需品の調達供給のため全機能の發揮につとめるとゝもに、出征者家庭に對し最善の援助を期しつゝあるが、さらに今回北支出征皇軍將士慰問のため「家の光」の須賀田主事を特派することになり、同氏は簗田會頭のメッセーヂおよび「家の光」を携へ十三日朝羽田發空路現地に急行することゝなつた

衆議院各派 北支慰問團

【東京國通】衆議院の各派代表は十二日午後打合會を開いた結果、在北支皇軍將兵慰問團を左の如く決定した、よつて同團では直ちに旅程その他につき打合をなした

△民政＝小泉又次郎、松田竹千代、古田喜三太
△政友＝綾部健太郎、肥田琢司、行吉角治
△第一議員俱樂部＝鈴木正吾
△社大＝三宅正一
△第二控室＝三木武夫
△東方會＝三浦虎雄

なほ團長には小泉又次郎氏が推されたが、小泉氏には特に女婿小泉純也代議士が隨行することゝなつた

宮原氏着任

大阪商船株式會社新京事務所長を命ぜられた宮原孝次氏(四三)は十一日午後着のあじあで夫人同伴着任、國都ホテルに投宿した

原動機取締規則
治安部令第九十號にて發令
發令規則の內容(其六)

第二十二條　安全瓣の總面積は左の各號の算式に依り算定したるものより小なることを得ず但し汽罐が最高蒸發を繼續する場合壓力を制限壓力より十パーセント以上に上昇せしめざる構造を有する安全瓣に在りては此の限に在らず

一、鋼製汽罐(蒸罐を除く)

$F = 1.5H\frac{1000}{PR}$

二、鑄鐵製汽罐

(1)上向通風の場合

$F = \frac{15H}{3}\frac{1000}{PR}$

(2)下向通風の場合

$F = \frac{10H}{3}\frac{1000}{PR}$

(Fは安全瓣の總面積(平方粍)
Pは制限壓力(瓩平方糎)
Hは傳熱面積(平方米)
Rは制限壓力に對應する蒸氣一立方米の重量(瓩)

第二十三條　安全瓣の徑は二十五粍以上たることを要す但し罐胴の內徑五百粍以下、長さ千粍以下、傳熱面積二平方米以下及制限壓力五瓩平方糎以下の汽罐に在りては前項の規定に拘らず十九粍以上と爲すことを妨げず

第二十四條　安全瓣は其の徑三十八粍未滿なるときは之を複條式と爲すことを得ず但し機能確實と認めたるものは此の限に在らず

第二十五條　安全瓣は其の瓣に加はる蒸氣の全壓力六百瓩を超える場合は之を槓桿式と爲すことを得ず

第二十六條　安全瓣の瓣及瓣座には容易に腐蝕することなき材料を使用することを要す

第九章　水面測定裝置

第二十七條　汽罐(溫水罐及蒸罐を除く)には二以上の硝子水面計を備ふることを要す但し竪型汽罐にして罐胴の內徑七百五十粍未滿のもの及煖房に專用せらるる鑄鐵製汽罐に在りては其の一は硝子水面計に非ざる水面測定裝置たることを妨げず

硝子水面計の硝子管は內徑十粍以上又は之に相當する斷面積を有することを要す

硝子水面計は其の硝子面の看取し得る最下部か安全低水面(汽罐使用中維持せらるべき最低の水面)を指示すべき位置に取付くることを要す

第十章　給水裝置

第二十八條　汽罐(蒸罐を除く)には隨時單獨に汽罐の最大蒸發量以上を給水し得る二以上の給水裝置を備ふべし但し第一の給水喞筒を結合したるものなる場合に於ては第二の給水裝置の給水能力は汽罐の最大蒸發量の二十五「パーセント」以上にして第一の給水裝置中の給水喞筒中最大のものと同等以上のものたることを妨げず

罐格面積○、六平方米又は傳熱面積十二平方米以下の汽罐に在りては前項の規定に拘らず給水裝置を一と爲すことを得

第一項の第一の給水裝置又は前項の給水裝置は動力に依り運轉する給水喞筒又は「インゼクター」たることを要す但し前項に該當する汽罐にして制限壓力二、五瓩平方糎未滿のものに付ては此の限に在らず

第二十九條　汽罐の制限壓力より其の廿「パーセント」以上高き水壓力にて汽罐に給水し得る貯水槽又は汽罐の制限壓力より一瓩平方糎以上高き壓力を有する水道は之を給水裝置と爲すことを得

第三十條　近接せる二以上の汽罐を結合して使用する場合に於ては給水裝置に關する規定に付ては之を一の汽罐と看做す

第三十一條　給水裝置の給水管には汽罐に近接せる位置に給水瓣及逆止瓣を備ふべし

第十一章　排水裝置

第三十二條　汽罐には水室の最低部に直結せる排水管を設け之に排水嘴子又は排水瓣を備ふべし

排水嘴子又は排水瓣の通水孔の斷面積は五百平方粍(制限壓力五瓩平方糎以下の汽罐又は蒸罐に在りては百二十平方ミリ)以上たることを要す

排水嘴子又は排水瓣は見易く且取扱容易なる位置に設くべし

第三十三條　熱瓦斯に接觸する給水管、排水管及水面測定裝置の通水管は耐熱材料を以て防護すべし

第十二章　壓力計

第三十四條　汽罐には制限壓力の一倍半乃至三倍の指度を有する壓力計を備へ制限壓力の指度には適當の標示を爲すべし

第十三章　蒸罐

第三十五條　蒸罐に在りては第三章、第四章、第六章、第八章、第十一章及第十二章の規定に依るの外左の各號の條件を具備することを要す

一、罐胴又は蓋板の材料には鋼板を使用すること但し罐胴の內徑四百五十粍以下又は之に相當する斷面積を有する蒸罐の蓋板は鑄鐵製たることを妨げず

二、加硫罐又は罐板が著しく腐蝕せらるる虞ある作業に使用する蒸罐の鋼板の厚さは九ミリ以上たること

三、蓋板締付用「ボールト」の直徑は二十五ミリ以上たること但し罐胴の內徑四百五十ミリ以下又は之に相當する斷面積を有するものに付ては此の限に在らず

四、鋼製蓋板の「ボールト」孔を有する板端は堅牢なる構造と爲すこと

五、蒸氣送入管中適當の箇所に減壓瓣又は減壓裝置を備ふること但し其の必要なき場合に在りては此の限に在らず

六、容易に內部を檢査し得ざる蒸罐に在りては適當の箇所に檢查孔を設くること

七、橫置型蒸罐に在りては罐胴の縱接手は罐胴の最低部より左右約二十度以內の範圍に之を配置せざること

第十四章　鑄鐵製汽罐

第三十六條　鑄鐵製汽罐は制限壓力○、七瓩平方糎以下に於て使用する組合式たることを要す

鑄鐵製溫水罐は制限壓力三瓩平方糎(水頭壓三十米)以下に於て使用するものたることを要す

商況欄(八月十三日)後場

株式相場

●大連株式(短期)

品	寄	引
五新	一三五、三〇	—
豆新	一八、七〇	—
東新	一三五、〇〇	—
滿鐵	五三、〇〇	—
同新	四二、三〇	—
日産	六九、八〇	—
鐘新	二四〇、六〇	—

●奉天株式(短期)

品	寄	引
滿取	一〇、九〇	—
東新	一三五、九〇	一三五、五〇
日産	七〇、一〇	六八、七〇
鐘新	二四〇、八〇	二四一、一〇
五品	—	—
豆新	—	—
滿鐵	五四、五〇	—
同新	四三、三〇	—
電甲	二九、〇〇	—
滿毛	二三、一〇	—
日曹	六一、八〇	—

手形交換高(十三日)

三六三枚　三五、九一　一七五、五一

鮮魚小賣相場(八月十三日)

釜山、清津、安東物入荷なし

品名	最高	最低
活鯛	一五六	九六
氷鯛	一八五	七八
中小鯛	一〇五	七八
コロ鯛	…	…
チヌ鯛	五二	八五
車エビ	一五〇	四三
小エビ	五五〇	五二
中アジ	四二	…
小アジ	…	…
ブリ	五二	二一
ヒラマス	六〇	一一
マナガツホ	…	…
マス	四七	四〇
サワラ	四六	三三
スズキ	…	…
ニベ	二四	一五
アジ	二五	八
サバ	…	…
赤ムツ	七八	…
アコウ	…	…
メバル	…	…
アブラメ	二一	二五
ボラ	四七	…
タコ	…	…
水蛸	…	…
飯蛸	…	…
紋甲イカ	二一	二一
甲イカ	…	…
小イカ	…	…
ヒラメ	四五	二一
カレイ	二四	一一
星カレイ	…	…
グチ	一八	…
小市	…	…
イワシ	三四	一一
ハゲ	…	…
ボーボー	…	…
カナガシラ	二八	一二
コノシロ	…	…
コチ	…	…
連長	二二	…
サンマ	一六	八
太刀魚	一二〇	八五
キス	四〇	…
サヨリ	二五	七
アナゴ	二一	…
ハモ	…	…
フカ	…	…
赤エイ	…	…
アユ	…	…
ウナギ	三〇〇	一三五
ドジョウ	…	…
アワビ	二五	一五
貝柱	七五	四〇
帆立貝身	三五	三〇
赤貝	…	…
親貝	三〇	二〇
ハマグリ	二〇	一〇
カニ	一〇	五
鹽サバ	二五	一八
オイカ	四〇	…
冷イカ	四〇	…
大シビ(切り身相場)	…	…

天氣と氣溫

けふの天氣　北西の風曇り時々晴
日の出　前五時四〇分
日の入　後七時四五分
月の出　後一時五一分
月の入　後十一時一七分
きのふの氣溫　最高三〇度　最低二三度四

日本の爲替統制に呼應
滿洲國も爲替管理法改正
中心點は無爲替輸出の許可制

滿洲國政府では日本內地における爲替統制の全面的强化に呼應し、康德二年十二月施行の爲替管理法ならびに關係部令を改正し、現下の經濟情勢に即應せしむべく、かねてより研究中であつたが、大體日本と同程度の爲替統制を斷行するに決し近く關東局の爲替管理法改正と同時に施行することゝなつた、しかして右改正の中心點は從來何等の規定なく全然自由となつてゐた無爲替輸出を許可制（對日輸出を除く）となし、もつて日滿兩國を打つて一丸とした綜合的國際收支の一元的適合を圖らんとするものである、現在無爲替輸出殊に對支無爲替輸出に關しては從來支那商人間に行はれ來つた商習慣をそのまゝ踏襲し、全く自由に放任されて來たが、このまゝ放置するときは國內商社ならびに關東州內商社の對支無爲替輸出を通じて資本の國外逃避を惹起する結果となり、更に進んでは無爲替輸出により得たる代金をもつて無爲替輸入を行ふ等の種々脫法行爲の途が殘されかくては折角努力しつゝある日滿國際收支の一元化も所期の目的を達成し得ざることゝなるので今回滿洲國政府ならびに關東局が同一步調をもつてその取締に當ることゝなつたものである、但し從來行はれ來つた對支商慣習の急激なる斷禁は業者の困惑を誘致する惧れがあるのみならず、大連港の自由貿易にも相當の影響を與ふることとなしとしないので、この點愼重なる辦法を講ずる方針である、なほ輸入爲替の統制强化に關しては種々考慮すべき點が多々あるので當分現行通りとなし改正を行はないものである

會社工場に働きかけ時局認識を徹底さす
物價の反動的昂騰を極力監視
朝鮮中央情報委申合せ

【京城支局】朝鮮中央情報委員會の定例幹事會は九日午後一時半より總督府第三會議室で開催、時局問題につき種々協議の結果

一、朝鮮內の大工場及會社にして時局に對する認識は極めて薄弱なるもの尠なからずとの情報に鑑み總督府主催の下に各工場主及首腦關係者を招致し又地方は道廳及府廳で懇談會を開催し的確なる時局宣傳を行ひ講演會出版物等を配布して認識せしむる

一、時局宣傳も官公署廳方面は普及されてゐるが會社工場方面の徹底策として時局關係の活動寫眞映寫及優秀パンフレットの配布をなす

一、時局關係で諸物價昂騰が懸念され工場爭議等を惹起する惧れあるため極力この方面を警戒せしむる

一、中樞院では舊韓國時代の大官連が相當多數各地に居住して居り全然現社會とは沒交涉であつて總督府の施政方針すら不知の者あるに鑑み今後この方面に對しても總督府の施政方針並に時局を認識せしめる必要があるので極力準備を進める

一、專賣局では時局關係のカードを使用し遞信局でもスタンプに時局標語等を使用せしめ鐵道及警察方面も街頭進出を行ひ電車內の宣傳板に時局問題を揭示せしむる等積極的實行方法を研究することゝなつた

豫算に時局反映

【京城支局】總督府各局の明十三年度豫算編成も大體終了したので大野政務總監及び財務局長の歸任を俟つて直に査定に着手すべく財務局で準備を急いでゐるが、各局よりの要求豫算總額は六億二千餘萬圓に達してゐるも果して査定の結果どの程度迄に食ひ止め大藏省に提出されるかゞ問題である、明十三年度の豫算編成は各局とも時局の前途を考慮し國防施設其他時局關係を考慮して編成して居り特に內務局關係の如きは從來五ヶ年乃至十ヶ年繼續事業として施行してゐた港灣及び國防道路改修工事の如きを極力促進せしむることゝなつてゐる、また鐵道建設工事の如きを過分にその種の意味を包含してゐるものが多いので財務局及び大藏省の査定に於いても從前の如き削除に會ふことはあるまいと見られてゐる

大野總監歸任し總督府局長會議

【京城支局】特別議會出席のため東上中であつた大野政務總監が歸任したので總督府では十一日午前九時四十分より南總督、大野總監臨席の下に局長會議を開催した、劈頭

△吉田鐵道局長、本月四日以降局鐵の旅客は二分、貨物は三割五分の各減收となり京釜線について見ると一キロ當り旅客六分、貨物は六割五分を減少した

△增永法務局長、鮮內の囚人も時局の重大性を認識し獻金の申出でが續出しつゝあるが所持金に差支へない程度は認めることにした

△大竹內務局長、水害狀況報告

△穗積殖產局長、暴利取締令の施行につき朝鮮では內地と異り取締種目に米穀を加へた、尙各米穀取引所間では時局柄買占的な行爲を未然に防ぐため八、九月限の新規賣買を自發的に申合せ自制することになつた、其の他關係各局課長所管事務の報告があり更に

△大野總監、特別議會は時局柄終始緊張裡に審議が行はれた議會では機會ある每に朝鮮に於ける內鮮一體の實情を紹介した、特に杉山陸相より鐵道輸送並に鮮內に於ける銃後の熱誠溢るゝ後援に對しては丁重な挨拶があつたと述べ

最後に南總督より時局に對する半島婦人の覺悟を中心とする訓示あり同十時四十分閉會した

事變避難民に醫師派遣

【京城支局】天津、山海關、秦皇島等の各地に收容した北支事變の避難民は既に七千人を突破し總督府では既報の如く小屋掛料や食糧品を支給して救助に努めつゝあるも稀有の酷暑と心勞による罹病者の續出は益々增加の傾向あるに鑑み醫師並に簡易醫藥品の急送方を總督府外務部に依賴して來たので之れが送附をなすべく目下警務局方面と連絡を取り準備を急いでゐるが今月末頃迄にはそれぐ送附する豫定である

在鮮支那居留民 續々引揚

【京城國通】日支風雲急を告げるに伴ひ鮮內居住支那人の本國に歸還する者既に五千名を超え、今後も尚大量避難者が續く模樣であるが、十二日午前十一時卅分釜山出帆の上海航路平安丸で釜山領事館員ほか八十一名が引揚げた

オルロフ、ヴイクトロフ 兩提督逮捕さる
ハヴアス通信報道

【パリ十一日發國通】ソ聯赤軍の補正工作の手はソ聯全土にのび各地において主要地位にある赤軍幹部ならびにこれと關聯あるソ聯要人が多數逮捕され、流刑或は銃殺に處せられつゝあるが、十二日フランスのハヴアス通信社はモスクワ來電として事件以來兎角の噂あつたソ聯ウラジオ太平洋艦隊司令長官ヴイクトロフ及び國防人民委員會次長オルロフの兩提督が逮捕されてゐることを確認し、更にウクライナ外務人民委員代理ペトルフキー、コーカサス軍管區司令官カチリーネ、ウクライナ戰車聯隊長ヴオリフセンコの三氏も逮捕監禁され、目下嚴重取調べ中であると報じてゐる、なほ外務人民委員部法律顧問ランチビッチ、法律部サバニン、西歐第三部長ネスクマンの三氏も罷免され流刑に處せられたと報じてゐるが、ソ聯海軍の樞要地位にあるオルロフ及びヴイクトロフ兩提督の逮捕監禁は注目される

八月上旬 哈爾濱特產市況

哈爾濱八月上旬特產市況左の如し

△大豆　前旬末保合商狀を呈せる市況は二日十月限五圓卅六錢と寄付き北支情勢早急解決困難を豫想され持久戰模樣に人氣離散し一方產地は農作謳歌に氣配軟弱五圓四十錢を高値として低落を來し、翌三日歐洲成約を報じ輸出筋買進みたるも日本淸算市場軒並安に嫌氣賣物出漸落步調を辿り、五日には五圓十六錢の安値を示現せり、而して同日發表の第一次收穫豫想昨年對比八%增收も旣に織込濟みのこととてさしたる影響を與へざりしも、この邊押目買人氣擡頭の折柄南滿筋より持越量激減の放送あり氣配稍々好轉三十錢高を見せ、爾後は南滿風水害懸念による包米、高粱高を跳めながら海外市場の不調に相殺され仲備小巾往來の不振商狀を示し十日五圓廿□錢を大引として不勢裡に越旬せり

限月	出來高
八月	三八八
九月	四六八
十月	一、二五三
合計	二、一〇九

△小麥　前月末新物の壓迫に期近暴落糶寄せ景況の後を受けて、二日市況は十月限六圓九十七錢と寄付き小麥安、大豆軟調に人氣鈍狀保合商狀を呈せるが、三日暴利取締令の發布あり氣配愈々冴えず、天好良順與地筋の賣物にだり安步調をたどり、五日寄はな六圓六十八錢を示現せるも値頃觀による實需筋の買氣潜在これを安値として目先底入れ二〇%增收發表も材料とはならず豆高に伴はれ反撥氣勢となり九日需給不圓滑に賣警戒人氣濃厚の折、南滿水害による包米高粱高を入れて六圓九十五錢方上放れ寄付き七圓四錢の高値を見せ跡天候好轉模樣に氣配再び軟化十日六圓九十三錢を大引として保合商狀裡に越旬せり

限月	出來高
八月	一六〇
九月	四〇八
十月	一、〇二六
合計	一、五九四

△豆粕　前旬末强保合商狀をたどりたる本品は旬初二日現物一圓七十九錢に生れ大豆安と日本市場の環境不良による暴落を入れて氣配軟化し翌三日には安値一圓七十七錢に低落、その後賣物薄の折大豆小康に反撥乾り商狀を呈せるも實需添はずが旬央は無商內に推移せるが旬末に至り日本高を移し昂騰十日一圓八十一錢五厘の高値にて成約强調裡に本旬を終れり

日本軍の行動は當然且つ公正だ
北支視察の米人記者語る

在支廿ヶ年新聞記者として活躍してゐる在上海ニユーヨーク・タイムス極東支配人H・アーベント並びに同社記者のビリンガムの兩氏は去る七月上旬上海發天津、北平、察哈爾方面等を視察陸路入滿十三日正午大連出帆[illegible]島丸で上海に歸還するがアーベント氏は左の如く語つた

今度の北支視察は日本軍當局の理解ある取計ひで非常な便宜を提供され感謝に堪へない、何しろ我々は上海經由の無電を唯一の賴りとして仕事をして行くものであるし又南京政府から外國への報道電報は一日三百語と制限されてゐる關係上自分ばかりでなく、駐在米國各特派員のすべてが憐まされてをり原稿が途中支那官憲により書替へられたりしたことは枚擧に遑ない程だつた、自分が察哈爾省で寺院が支那軍の手で燒却されたと打つたら日本皇軍の仕業だと改められたりまた日本軍は決して暴戾でないと傳へれば否定して暴戾だとはされたりひどい目に遭はされ續けだつた、アメリカが今度の事件で今後日本に働きかけるかどうかは現在のところでは判らないが自分は斷じてないと思つてゐる、日本の行動は全く當然且つ公正だと信じてゐる

自發的運動促進
吸煙斷禁善導工作に關して
協和會聲明を發表

政府では十一日阿片麻藥の斷禁に關する國務總理の佈告を發し吸煙者の自覺、自戒を促すと共に密作密賣等の不正業者に斷乎たる處置に出ることになり、またその他の不正業者に對しても非常時局の折柄嚴重取締を行ふことになつたが、協和會では政府のこの方針に基き、吸煙斷禁の自發的國民運動を促進せしめると共に不正業者に對して善導策を講ずることに決定、十二日全國省、縣、旗本部に對して右に關する工作指令を發し、于中央本部長談の形式をもつて次の如き聲明を行つた

現在の滿洲國は建國以前と異なり新興國として漸めて明朗に發展してゐるのであるが、かゝる際に法網をくゞつて不正なる行爲をなし又は國家が禁ずる阿片麻藥類を嗜好するが如き者の存することは誠に慨嘆に堪へない、これ等は實に國民を汚濁するものであり民族協和を阻害するものであるから民族の如何を問はず斷じて掃滅しなければならぬ、しかしこの際建國精神に基き率先して正業に轉じようとするものに對しては充分に力を盡して職業の斡旋に努める心算である、更に協和會員は互に相戒めて阿片麻藥類の嗜好を禁じ分會內には勿論自己の近所にこれを用ふるもののないやうに不正業者の肅正をまづ身邊から圖らねばならない

第一次獻金 四百萬圓

【東京國通】朝日新聞の軍用機獻納資金は全國民の熱誠なる贊助により去る十日をもつて四百萬圓を突破するに至つたので同社では取敢ず第一次獻金として十二日右四百萬圓を陸海軍兩省に各二百萬圓づゝ獻納した

恤兵獻金 關東軍扱

百圓新京鄭鼓、夫人獻、六圓廿二錢、新京室町小學校鈴木田鶴子、江口總子ノ成宮幸枝五十五圓、新京高野山金剛寺修榮講員一同百圓、新京春山暢良十圓、新京復木蘭泰二、二圓白菊小學校高一、筒井とし枝百圓、大日本國防婦人會赤峰分會百六八圓廿錢、舒蘭縣協和會小城分會十圓、中本繁雄百五十圓、興安軍官學校職員團二十圓、大西關植田義雄三圓、海拉爾島崎美榮子、同靜子、同喜久子百圓、望奎縣縣長金棟外五十八名五十圓、新京大塚ヒロ、沖田トヨ二十一圓二十錢、興安東省喜札爾旗索倫商工會三十三圓二十九錢、三笠小學校六年生江口眞室町小學校二年生中村眞、江口一成、江口學、奧野皓之、奧野晴正二十一圓、新京新都病院修養團支部五圓三十錢、八島小學校石川美子、橋本恭子、惠子六百圓新京藥業組合（ヘ四二名）代表宮崎竹次郎、仲田三郎、十圓、牡丹江山田ハルヱ五圓カフエー愛國女給一同、九圓牡丹江密山電話局々員一同、七十二圓、牡丹江永野間藤子他三十一名、十六圓三十錢牡丹江フタバ洋行從業員貞方春海他二十六名一圓六十五錢牡丹江弘中輝晃、同憲雄同弘衛四百三十七圓、禰昌公司新京支店社員並關係者一同二十一圓十錢、新京神山義隆外十七名四圓新京助川幸子

合計二千一百三十一圓十六錢

優勝戰をあすに けふ第七日目
好レース揃ひの出馬
第一次新京秋競馬

秋季第一次競馬も愈々第七日目の前日競馬を迎ふることになつて、余すところはあと一日最終日を飾る第一次優勝レースの華々しき一戰だけである

◇

前半より波瀾重疊のレースに聊かファンの自信はKOされ第四日目の如きは大穴連續の番狂せを演じて競馬黨攤奇の神經を微塵にのし盡されたのであつた

◇

こゝだけは金の廻る世界、臺所の計算に目高い御婦人ですら平氣で五圓紙幣をポッ飛ばす猛者の寄合である

この情景は常識的觀察は「斷」の一字で極められてゐるんだ、ガラと馬券のカクテルに陶醉するこの異色の世界に、辷るばかりぢやない、誰かに幸福のマスコットは宿るんであるから、競馬大明神を謳歌せざるを得ないではないか

◇

戰はん哉時至る!!新古外馬の「いなゝき」は天高く明日に繰り展げられる優勝競馬へのサインである、競馬ファンの勝算はたれりか、第七日目の好レースは別表出馬表の通りであるが何か嵐の前のキマリ言葉である光は東方より輝け本社競馬係は百パーセントの確實なる豫想を讀者ファンに送つて、競馬時代の新境地を開拓しつゝあるのだ、思ふ存分參考とせられよ讀者ファン諸氏

▲第一レースは菊香の人氣よく、本命は間違はなからうと思ふ、こゝで三着に入るのが光勝か、山心か、更に初陣の出勝が見事に乘り切るか穴馬である

▲第二レースは差し脚に聊かの憂ひがあるけれど南嶺の一着は豫想される、次に新冝、新編の何れかに複勝を狙ふものと見られるが、第六日目に瀧のラストスパートよく第四着について居るから侮り難いものである

▲第三レースは美光の一本で他に穴馬も見當らぬ樣である

▲第五レースは豫想混頓として許されない、別表豫想に就いて檢討されたい、穴としてこの競馬邊りに出るのぢやないかと思ふ

▲第六レース、第六日目に成績余り香しくはなかつたが有田の一が至當と見られる次に續いて櫻川、玄洋の喧嘩となるだらう、闘花の調教が上出來といふ噂もある

▲第七レースの抽古馬は好調爛熟の馬ばかりである爲め豫想に苦しむ、このレースでは金來、丹峰を除く仙馬は何れも同格馬で、單か複かの投票に競馬ファンは迷ふであらう強ひて狙はんとするならば一走の單邊りが面白い、これに松影の複勝がある、但し冒險の覺悟を要する

▲第八レースは本日白眉の競馬である、一、八〇〇米の短距離だけに精養軒に幾分かの強味がある、だが新松緣といふ好敵がどう來るか一點に興味が引かれてならぬ、馬場良であれば長春默々として穴を狙ふ、勝負は水物、睦月も短距離に調子よく競馬の結論が掴めぬところに馬券の配當も違ふのである

▲第九レースの新馬勝馬レースでは吉生多少の故障氣味を傳へられてゐるが第六日目の脚があれば他馬に勝を讓ることはあるまい、續く華王、松竹となるらう、距離は長いが紅燕邊りの穴が出るかも知れない、但し馬場不良の場合は狙はれぬことに注意を要する

▲第十レースは金翔の故障回復如何によつては面白い狙ひ馬であるが、哈克登、初瀨早雲の一着爭ひである、往年の優勝馬旭洋が久し振りに參加してゐるが、攻馬足りぬと思はれるが、然し注意は怠り難い駿馬である

▲第十一レース勝馬だけにどれが出るか豫想はむづかしい、新初音故障を回復してピチピチして居るが長距離の負擔と古馬だけに舞姬に六分の勝味があるやうに思ふ赤穗、甘王ともに物凄い差脚があるだけに接戰を豫想される

▲第十三レースの方變では舞鳥の單勝は安心して狙ふことが出來よう、大體に於て豫想通りにくると思ふが英新は複穴として見逃し難し

▲第十四レースの最終レースは金大英、新京豆の一着爭ひで、濱千鳥の三と見られるが外に輕視出來ぬ馬に辨天がある、最後のレースだけに自重して投票せられん事を希望する

勝馬及び出馬豫想

▲第一抽新一、六〇〇米

豫想	號	馬名	重量	騎手
二着	一	丹川	[illegible]	谷尾
三着	二	光勝	[illegible]	落合
穴	三	出勝	[illegible]	吉滿
一着	四	菊香	[illegible]	前田
	五	北仙	[illegible]	久保
	六	山心	[illegible]	上原口
	七	梅林	[illegible]	山尾
	八	惠駒	[illegible]	久保田

▲第二抽新一、八〇〇米

豫想	號	馬名	重量	騎手
	一	新編	[illegible]	上原口
	二	錦上花	[illegible]	落合
	三	北走	[illegible]	谷尾
二着	四	新冝	[illegible]	濱崎
穴	五	瀧	[illegible]	高尾
一着	六	南嶺	[illegible]	有吉

▲第三新古外方變二、〇〇〇米

豫想	號	馬名	重量	騎手
穴	一	横濱	[illegible]	上原口
一着	二	美光	[illegible]	吉滿
	三	海星	[illegible]	新原
	四	新泉	[illegible]	梶原

▲第四抽古障碍二、〇〇〇米

豫想	號	馬名	重量	騎手
	一	金華	[illegible]	谷尾
一着	二	快々	[illegible]	吉滿

▲第五抽新一、八〇〇米

豫想	號	馬名	重量	騎手
	一	鳥渡	[illegible]	甲斐（啓）
	二	梅花	[illegible]	新原
穴	三	九天	[illegible]	谷原
	四	薩摩嶽	[illegible]	有吉
一着	五	越	[illegible]	梶原
二着	六	南方	[illegible]	上原口

▲第六抽古二、〇〇〇米

豫想	號	馬名	重量	騎手
三着	一	玄洋	[illegible]	甲斐（均）
	二	勝	[illegible]	梶原
	三	金箔	[illegible]	吉滿
	四	公山	[illegible]	落合
一着	五	有田	[illegible]	清水
二着	六	櫻川	[illegible]	田中
	七	愛甲	[illegible]	高尾
穴	八	闘花	[illegible]	久保

▲第七抽古二、〇〇〇米

豫想	號	馬名	重量	騎手
	一	松影	[illegible]	久保田
穴	二	菊勇	[illegible]	內田
二着	三	早姬	[illegible]	吉滿
	四	公武	[illegible]	谷尾
	五	金來	[illegible]	濱崎
	六	丹峰	[illegible]	新原
	七	新勝	[illegible]	甲斐（均）
一着	八	一走	[illegible]	有吉

▲第八抽古一、八〇〇米

豫想	號	馬名	重量	騎手
二着	一	新松緣	[illegible]	吉滿
	二	滿洲鶴	[illegible]	久保田
一着	三	精養軒	[illegible]	甲斐（均）
	四	大渡	[illegible]	谷尾
	五	公星	[illegible]	前田
	六	公富	[illegible]	高尾
	七	幸成	[illegible]	久保
三着	八	睦月	[illegible]	上原口
穴	九	長春	[illegible]	梶原

▲第九抽古二、〇〇〇米

豫想	號	馬名	重量	騎手
一着	一	吉生	[illegible]	濱崎
	二	泉山	[illegible]	久保田
三着	三	松竹	[illegible]	新原
	四	公月	[illegible]	梶原
穴	五	紅燕	[illegible]	甲斐（均）
二着	六	華王	[illegible]	久保
	七	甲子	[illegible]	甲斐（啓）
	八	愛國	[illegible]	前田

▲第十新古外二、〇〇〇米

豫想	號	馬名	重量	騎手
	一	新長	[illegible]	松本
二着	二	初瀨	[illegible]	前田
	三	一天	[illegible]	清水
	四	金翔	[illegible]	甲斐（均）
三着	五	早雲	[illegible]	梶原
穴	六	源石	[illegible]	久保田
	七	金進	[illegible]	久保
	八	錦具	[illegible]	新原
注意	九	旭洋	[illegible]	田中
一着	十	哈克登	[illegible]	吉滿

▲第十一抽古二、〇〇〇米

豫想	號	馬名	重量	騎手
二着	一	新初音	[illegible]	吉滿
	二	三治	[illegible]	濱崎
	三	八萬	[illegible]	久保田
	四	赤穗	[illegible]	梶原
穴	五	甘王	[illegible]	甲斐（均）
	六	朝日櫻	[illegible]	田中
一着	七	舞姬	[illegible]	新原

▲第十二抽古障碍二、〇〇〇米

豫想	號	馬名	重量	騎手
	一	北靈	[illegible]	吉滿
一着	二	惠六	[illegible]	新原

▲第十三抽古方變一、八〇〇米

豫想	號	馬名	重量	騎手
	一	眞力	[illegible]	上原口
二着	二	双葉	[illegible]	前田
三着	三	常陸	[illegible]	甲斐（均）
	四	玉吹雪	[illegible]	谷尾
穴	五	英新	[illegible]	吉滿
	六	矢鮮	[illegible]	松本
	七	惠昇	[illegible]	久保田
	八	秀雅	[illegible]	梶原
	九	公流	[illegible]	落合
一着	十	舞鳥	[illegible]	新原

▲第十四抽新一、六〇〇米

豫想	號	馬名	重量	騎手
	一	凉風	[illegible]	內田
一着	二	新京豆	[illegible]	上原口
	三	舞駒	[illegible]	新原
二着	四	金大英	[illegible]	前田
三着	五	濱千鳥	[illegible]	久保田
穴	六	辨天	[illegible]	吉滿
	七	玉浪	[illegible]	谷尾
	八	新常陸	[illegible]	甲斐（啓）
	九	三邦	[illegible]	梶原

家庭

魅力を出す
紅とアイシャドウの技巧
一段と生きる化粧

最近の巴里では、目のお化粧を活かす一つの新しい工夫として頬紅を頬へつけないで、目を中心につける傾向が著るしくなつてまゐりました。これは目の小さい日本人にもきつと向くでせう。

◇

つけ方は、白粉を塗る前に極く薄く紅をつけるのですが、目を中心としてマブタの生際の方までぼかします。白粉はその上からやゝ濃目にします。それからアイシャドウですがこれも成るべく目を大きく見せるには、從來のやうにマブタ全體に塗らないで、瞳の眞上から目尻へかけてつけたマブタも瞳の眞下の邊まで、指に殘つたので薄くぼかしておきます。

◇

それから目と目との間隔のはなれすぎた方や鼻の低い方は、目頭にもアイシャドウをつけます。さてお化粧が終つたら、少し遠目から鏡をのぞいて御覽なさい。貴女の目は何時もよりずつと大きく魅力的に見えるでせう。

夏痩せを防ぐには
先づ食慾を旺んに
それには早起が何より
食前の果物は控へる事

（夏）痩せするなんていふことは全く文明人の恥辱だと思ふのです—文字の解釋から云つても文明とは我々人間が自然界を如何に征服してゆくかといふことでせう。それなのに自然のするまゝに、つまり暑いからといつて、濕氣があるからといつて、光線が強いからといつてすぐ新陳代謝を不活潑にし、神經の活動力をにぶらせ或は臟器の機能を鈍調にして食慾がないなどゝいひながら、所謂夏痩せして自分のからだを

（衰）弱させてゆくのです。それを防ぐ適當な方法のあるにも拘らず……つまり夏痩せするといふことは「自然」といふ力に屈服してしまつて、食料、榮養を適當に攝れない結果によるのです。ですからもし我々が適當に食品を取捨配合して、必要量だけを取るやうにさへすれば、病的なものではない限り決して夏痩せは起りはしません。しかもその量は多に比して相當少くてよろしいのです。夏は氣溫にうばはれるカロリーが甚だしく少いのですからといつてまた非常に少くなつてしまつてはだめです。

……そこで所謂夏痩せを防ぐ最も手近な方法といふのは食慾を出來る限り減退させないといふことにあるわけですではどうしてといふ實際問題としては、例へば朝食のまづい人はまづ朝起きをすることです。起きてから食事までに相當の時間のあるやうに勿論その間は

（掃）除をするとか、食事の支度をするとか、或は運動をするとかすることです。きつとおいしい朝食がとれるでせう次にひゑはまた家庭に留守番でもしてゐる奥さんなど一人でお膳に向つたところで食慾も出ないでせうから、例へば近所の同じやうな奥さんと持ちまはりのやうに今日は自分の家で、明日は向ふの家でといふやうに、協同炊事で何人か集まつて食べるやうに試みるもよいでせう。大勢で樂しく話しながら

（食）べるといふことは大變食慾を出すものです。もう一つは水氣の多いもの、間食は出來るだけつゝしむ事です。次の食事の食量を大變おとすものですから、果物とか冷たい飲み物とか、さうしたものはすべて食後にすぐつゞけてとるとよいのです。夕食後もさうしたものはあまり澤山とらないやうに、次の朝の食事にさしつかへますから、そして一般食品は比較的

（含）水炭素性のものを多くとるやうに、勿論蛋白質その他は他の季節と同樣にとるのですが含水炭素は米とか馬鈴薯豆類等、麥粉のものに多く含まれてゐます。それからビタミンB、これは食慾を増進させるものです。野菜類に多く含まれてゐます。以上の注意をよくされたら決して夏痩せはしないわけです。

・美容サロン・
肌の強い人に
氷のお化粧

マ……これは、勿論、皮膚のあまり弱くない方に申し上げたいことですけれど……。

マ……夏お化粧に先だつて、アストレンヂエント・ローシヨンで皮膚をひきしめた上、氷でお顔をなでますと、大變お化粧が永持ちします。

マ……又最初氷でマッサーヂしてから、アストレンヂエントを使つても順序はどちらでもかまひません。

けふの番組
（M・T・O・Y 新京放送局）十四日（土曜日）

××朝××

六、二五　ニュース（東京）
六、三〇　ラヂオ體操・入港船のお知らせ（大連）
六、五〇　中等滿洲語講座（大連）
七、一五　朝の音樂　講師　秩父固太郎（大連）
七、四五　建國體操（大連）
八、〇〇　氣象通報（東京）
九、〇五　經濟市況（東京）
九、三〇　經濟市況（東京）
一〇、〇〇　家庭講座（奉天）　滿人兒童の家庭と音樂　四宮春行
一〇、二〇　料理獻立
一〇、三〇　家庭メモ
一〇、四〇　經濟市況（大連・新京）
一一、三五　經濟市況（大連）
一一、四〇　經濟市況（東京）
一一、五九　時報（東京）

××晝××

〇、〇五　晝の演藝
〇、三〇　ニュース（奉天）（東京・新京）
一、〇〇　經濟市況（大連・新京）
三、〇〇　經濟市況（大連）
三、四〇　經濟市況（東京）
四、〇〇　ニュース（東京・新京）
四、三〇　經濟市況（大連）
五、二〇　ニュース（鮮語）
五、三五　講演（奉天）　我帝國の東洋に於ける使命と我等の盡すべき天分　在奉天日本帝國總領事館副領事　崔卓
六、〇〇　天然記念物めぐり（十七）（富山）　鬼連螢烏賊に就いて　御旅屋太作

××夜××

六、三〇　子供の時間　夏休みラヂオ双六（第七日）
六、五〇　コドモの新聞（大連）
七、〇〇　ニュース（東京）ニュース・告知事項・番組豫告（新京）
七、三〇　ラヂオ隨筆（東京）　一、或る日の榎本武揚　理學博士　大島正滿　二、提灯　上司小劍
八、〇〇　田樂（大阪）　・銃・後・の・夕・　御勝八幡宮紫宸殿田樂舞　京都府天田郡金山村上野條有志
八、一〇　齊唱と二重唱（大阪）　一、女の行く戰線　外　大阪音樂學校生徒　管絃樂　伴奏　指揮　長井齊
八、二五　琵琶（大阪）　野面を渡る軍歌　光田旭扇
八、四五　ラヂオ社會面（大阪）　壯烈報道戰線の華　山村聰
九、一〇　詩吟（東京）　獨唱　東海林太郎　槽谷耕象
引續き　國民歌謠（東京）　一、航空愛國の歌　外　獨唱　下八川圭祐　合唱　コーロ・エコー　伴奏　AKアンサンブル
九、三〇　時報・ニュース・ニュース（東京）氣象通報・番組豫告（新京）
一〇、一〇　ニュース再放送
一〇、三〇　北滿の時間（哈爾濱）
一一、〇〇　滿語の時間

國民歌謠
後九・一〇（東京）
獨唱・下八川圭祐

合唱　コーロ・エコー
伴奏　AKアンサンブル

一、航空愛國の歌
澤登靜夫作詞
山田耕作作曲
奥山貞吉編曲

1 今だ　いざ起て　翼の日本
空だ　翼だ　時代の風だ
唸れ　プロペラ　騁け雲を
空は　黎明　あかねの沃野
翼　翼　讃へよ翼
翼　翼　日本の翼

2 今だ　いざ起て　翼の日本
姿だ　翼だ　新たな風だ
勢へ　鳥人　世界を結べ
空は　未來の　輝く領土
（以下同前）

3 今だ　いざ起て　翼の日本
空だ　翼だ　東の風だ
遂げよ　征空　翼の限り
空は　はてなき　綠の祖國

4 今だ　いざ起て　翼の日本
空だ　翼だ　光の風だ
唸れ　プロペラ　人智を超えて
空は　我等が　榮ゆく航路

二、山は呼ぶ　野は呼ぶ　海は呼ぶ

ラヂオ隨筆
後七・三〇（東京）

一、ある日の榎本武揚
理學博士　大島正滿

（大島氏は附立高等學校教授）

榎本武揚の事蹟についてはあまねく知られてゐるが、ここにその隱れた功績を話してみたいと思ふ。それは函館から一里ばかり離れた「森」といふところで、波止場をつくる際彼が我國で初めて木材の防腐劑を使つたといふ事實なのである。勿論コールタールなどはなくて石油を塗つたといふのであるが、今から考へると何でもないことだが、さういふことに氣付いた彼の達見はまことに偉大といはねばならない。この工事のときの挿話には他に興味あることもあるのでさういつた話を述べてみるつもりである。

二、提燈
上司小劍

（上司氏は小説家）

提灯の光りは極めて印象的なものであります。寂しい田舍の野路を行く、たゞ一つの提燈の光り、それが闇の中に動いてゐるのを遠くから眺めた感じ、また電燈の明るい都會のまん中にあつても、提燈は特殊の光りをもつてゐて、やはり印象的であります。提燈には蠟燭を用うるに限ります。あれへ電燈を引きこんだりすると、明るくはなるが印象的でなくなります。提燈は支那の唐の時代に日本へきたものらしいが、すつかり日本式に改造されて、今は日本特有のものとなりました。然し、提燈の發音は、唐音をそのまゝ殘しております。支那には牡丹燈籠などといふものがあつて、あれも一種の提燈ですが日本でもお盆にはあれに似たものを造つて、軒へかけました。牡丹燈籠は圓朝の講談に飜案されて、おそろしいものになりましたが、田舍の墓地に見る雨晒らしの白張りの提燈も氣味のわるいものであります。

氷
これが解るとうつかり飲めない
鹽素アンモニアの溶解水
傳染病の危險十分

人造氷の製造法は、冷却用のアンモニア管を繞らした鹽化カルシウムの中に鐵罐をつけ、一パイに水を張り、眞中に眞鍮の管を入れ、それを管からブーブー空氣を出し乍ら凍らせるのです。凍り始めるのは罐に近い部分からですから、水の中の不純物は自然眞中の凍らない部分へ集りますから、その汚い水をポンプで抜き新しいのと代へます。此の眞鍮の管から空氣を出し水を代へる作業を少くも三回以上繰返し、全部氷となつたら最後に眞鍮管を抜きます。運搬されてゐる大きな氷を見ると、眞中が白くなつて見えますが、これは眞鍮管を抜いたために空氣が排出されず、澤山の氣泡が殘つてゐるためです。

さて違反の多くは鐵罐に穴があつて冷却用の鹽化カルシウム液が氷の内部に侵入して鹽素分の多い

不潔な氷となつたもの、ゴミ、木屑が穴から入つたもの、アンモニアがもれて規則では融解水百萬分に對して〇・〇五以上は悪いことになつてゐるのですが、その五倍も十倍ものアンモニアが入つたものが主なものですが氷の良否の見分け方としては（一）氷をすかしてみて木屑やホコリをまいたやうにポツポツゴミはないか（二）モヤモヤとした綿屑は見えないか（三）虫が喰つたやうに氣泡がないか等——を調べることで、之等が見えれば傳染病や胃腸を害ふ

危險は十分あるわけです。無色透明で白い穴の少ない質の硬い氷は上質ですが、氣泡の多いのは製造設備の缺陷か、製造してから長い時間を經過したものと知るべきです

學藝

滿洲國の映畫（一）

一、滿洲國映畫文化運動の進路

◇……滿洲國政府各部局の映畫文化工作が不統一であり不振である原因、映畫國策運動が一頓挫の形となり、映畫市場が外國の映畫に獨占されてゐる等のことは後記「滿洲國の映畫文化運動」によつて略諒解出來るが、茲において必然的に起る問題はこれが打開策を如何にするかである、一部有力者の間には日滿特殊關係から日本の映畫企業者達が今にも進出し來り滿洲國の映畫文化運動は自然に發達するものなりと樂觀してゐるとの話を聞く、日本の映畫企業家達はそれ程善良なものであらうか、もう少し日本の映畫界を正視研究する必要はなからうか

◇……滿洲國における映畫文化の殿堂は滿洲國自力で建設しなければならない、滿洲國映畫文化運動の進路を何れに取るかは直面したる大きな研究問題である

今後の國家は、國際的には經濟戰と並行して宣傳戰、思想戰を續けて行かねばならぬ、場合によつては宣傳戰、思想戰の方が重大なる結果を齎す場合がある、況んや建國日尚淺い滿洲國、更に思想宣傳において世界的に恐れられてゐるソヴイエト聯邦を北に控へ三民主義を奉ずる中華民國を南に連ねるといふ斯る環境の中において思想工作は舉國的重要事であらねばならぬ、この思想宣傳工作の媒體を何に求むるか、口頭によるもの、新聞、雜誌、ビラ、ポスター等の文書によるもの、或は演劇、映畫、ラヂオ等によるもの等その種類は頗る多い、しかしながらその中映畫が最も勝れた媒體であることは映畫の本質のしからしむるところでその迫眞力は他の如何なる媒體よりも遙かに力强いものである事は今日一般の結論となつてゐる

◇……この映畫の思想宣傳の媒體としての特質、價値を滿洲國の政治理想を實現する上に如何に指導し活用するかの國家的政策を先づ決定することが必要である、これが滿洲國の映畫國策樹立である、これが決定しない以上何等の具體的實施案が生れない譯である、政府要路の先覺者達が一日も早くこの政策を決定し具體的案を天下に公表される日の早からんことを切に願ふものである

滿洲國の映畫に對する指導精神、これは

一、國民大衆に王道主義的世界觀を敎へる
二、舊來の陋習を打破し、五族協和による新興國家の建設に積極的に參加するに必要なる心理的準備を與へる
三、新國家建設に新鮮なる勇氣と覇氣を與へる

この指導精神こそ滿洲國における映畫國策に對する根本方針であると信ずる

◇……國家の指導原理、指導精神乃至倫理道德を國民に宣明、鼓吹、徹底することが思想工作の第一義である、ソヴイエト聯邦が新國家建設と同時に映畫事業の國家管理を斷行して宣傳戰に乘出し、ナチスがドイツ政權を握るや宣傳省を新設し映畫事業の國家統制を完成した、その他歐米諸國は何れも映畫の國家統制に努力してゐるのである

二人（六）

右田卓二

その夜文江は輝子と一緒に齋藤のアパートに行つた部屋帽を被り、部屋着を着、椅子に腰掛けて煙草を吸つてゐた彼は二人の訪問にすつかり驚いてしまつた文江は打つて變つて愉快に話し他の二人を笑はし落着いた調子で部屋を歩き廻り着物の袖をぱたぱたさせながらキチンと並んだ本立から白水社のフランス綴の本を引拔き机の上の齋藤の京人形をいざくるのであつた

「齋藤さん、新木つて良い人よ」と急に机の前にこちら向きになつて文江が言つた、「私達の兄さん―と言つても良いかな少し若過ぎるけど色々のことを敎へてくれたわ會ひに行つてみない？」

齋藤は新しい人に會ふことに對して、今までとぢこもつてゐた小ぢんまりした自分の生活範圍を破る危險を感ずるのであるが、新木とはつき合つて新しい生活を擴げても良いやうな氣がするのである、新木との接近が好意ある現實との接近であるから彼の心はたやすく開くのであつた、今までの彼の生活は自分に惡意があり都合の惡い現實から自分の生活を守ることであつた二人をアパートから送り出しながら、彼は何か新しい興奮と期待に自分の心を輕々と感ずることが出來た

新宿のモナミでお茶を飲み驛前で齋藤と別れた二人は代々木まで歩いて歸ることにした人家がまばらになり道が暗くなると多の木立は段々黑く背伸して來るやうに思はれた

「久江さん」と輝子は一つ言葉を置いた。「かう言つちや何だけどわたし齋藤さんとの問題は危險に見えるわ」

輝子の中には今會つて來た齋藤の記憶か新しかつたそして彼女は文江の前で彼等の關係を否定する殘酷なよろこびも感じた、確かに文江に對する嫉妬かも知れない、彼女は總てに對する文江の無邪氣もを踏みにじたかつた、自分と同じ地位にまで文江を引落したいのだ、輝子は何か思ひ掛けない程の力を得て喋り始めた

「なにより若い人との戀愛でせう、あなたは姉さんみたいな氣持なんでせう、何かその關係は實現するには力がうすい様な氣がして仕様がないわ第一あなたは此の四月から學園の先生になることに決つた譯でせう、何を楯に取つて東京にとどまることが出來る？出來ないわね」

「さうだわ、實際私でもはつきり分らないの唯此處に居る間はこれでいいの」

「―だと言つてあなたはその爲に何もさう齋藤さんを中心として自分の身を如何振り向けやうか、そんな事を一つもしてみないでせう、あなたが夢みたいと見えるのだから駄目だと思ふのよ」

「確かとさうだわだが私これでもう良いと思ふの、鄕里の學校に歸るわ、あゝもうその話止めにして頂戴！」

思ひがけない文江の弱さであつた、何時も快活な文江が今度はかうしてたえ切れない悲鳴を上げるのだすると輝子の心は何か動搖し始めた、文江に對する同情であつた、だが輝子には第三者であるだけにとの現實的に實現不可能なことがはつきり分るのだつた

それに如何することも出來ない空地に來た、刺のある針金の柵が道に沿つて續いてゐた黑く塗つた左手の板屛に氷つた道を踏みしめる足音がピューンく＼と反射した。

實際二人の生活には新しい變化が周圍から起されてゐたキンが又自分の學校に歸ることになつたのである

キンの學校はキンが止めてから急に入學者が少くなつた最初は强氣で押してゐた理事達もこれには如何することも出來なかつた。兎角古島キンの名前がその學園に不可缺なものであることは本當であつた、二月早々中國の田舍の學園のある村の村長が東京にキンを尋ねて來て急に復活問題が起つたのである、村長は自分達の村の生命のために是非私心を捨ててと言ふのであつたがキンはそれ見ろと言ふ態度を取つた、然し心ではほつとした、今になると學校を捨てて來た打擊が如何に强かつたかが分つた此處三年近くの自分のいたましい現狀がやつと救はれるのである、村長は學校騷動當時からキンの味方であり、他の理事達も折れて此の村長を立てて來た譯だから自尊心を傷つけることもなくキンの氣持も動いて良い事情にあつた。何よりも自分が育てて來た學校が潰れることはたえ得ないことであつた。キンは村長に承諾の意を與へ學校の全權を握るけれども校長の名を取らないことにした、そしてキンは下瀨藤子と近日中に東京を去り四月からの準備をし文江と三重は四月から學園に敎師として行くことに決つた

女流七家撰（五）

富永種子

〇

人思ふ胸の熱きに異らず今日見る北の夕燒の雲

今日は稀に心安けく見てありぬ北に通へる雲の様など

人の世を樂しと思ふ力さへ乏しくなりしこの日頃かな

友は今磯邊に身をば養ふと、我れは旅にて戀を養ふ

人も我れも夢の世界にある如し霧がつつめる板橋の上

このままに若き命の絶えなばと思ふ渚の夜の月かな

忘らるる身のあはれより我が胸の火の衰への悲しかりけり

とある日は狂ひ人さへうらやみぬ思ふことみな爲し果てむとて

詩　或風景

東堂百合

日向葵のある
ルーフガーデンに
白扇が動く
カンガルーのハイヒールだ
コツコツ音をたててる
アコーデオンに和してる、
もう少しで
月

學藝消息

△松尾小女郎氏より

發展のレールが光る珠河の驛

△合崩（八月號）十周年記念號とあり、作品多數と同人の回顧など賑やかな情景である（へ大連市柳町三、滿洲短歌會、四十錢）

△短歌至上主義（八月號）松浦翠子の率ゐる短歌雜誌新京から稲垣輝安氏が作品を出してゐる（東京市澁谷區伊達町十七、藤浪會、三十錢）

△北支那（八月號）戰亂のさ中に在つて編輯されたもの、卷頭多くの寫眞を掲げ、「北支事變戰況日記」「事變解說」「北支事變從軍記」堀內干城氏「故有吉大使追慕錄」「北支經濟資料」等を載せてゐる（天津本租界松島街二、北支那社、三十仙）

△全國農村工業彙報（八月號）一周年記念號で「農村對策の眼目」「農村工業技術者の養成」等掲載（東京市本所區横網十六ノ十一、全國農村工業品販賣所、十錢）

△日本歌人協會日報（四號）新會員氏名其他（東京淀橋區西大久保三ノ一二八其會）

本欄紹介希望の新刊は本社編輯局宛一部御送附相成度し（係）

家庭医學

夏期醫學講座

榮養を特に必要とする患者の食慾不振

如何に處置すべきか

平素胃腸の丈夫な人でも、夏期になると、兎角食慾減退に陥るのが普通ですが、これが結核とか胃腸病の様に、特に榮養を必要とする患者の食慾不振は、どう處置したらよいか？　これこそ病人の看護に當る人々の最も實際的な當面の大問題でなければなりません。

一體、夏の患者が食慾不振を訴へるのは、第一に氣温が高いために

胃腸が衰へて

消化吸收の力が弱るのに加へて、病氣そのものゝ障碍があるからであります。それも胃腸病ですと、原因が胃腸の組織細胞の機能低下だけに止りますが、結核などの食慾不振は、結核菌の生産する毒素のために食慾が障碍されるので、たゞ胃腸の薬だけをのんだのでは癒すことは出來ません。

病人が非常に衰弱して、どうしても食物の攝取が出來ない時は、醫師がよく葡萄糖などの注射をいたしますが、それは餘儀ない最後の手段であつて、榮養攝取の目的からいへば、頗る不利であります　例へば

米飯一椀は

約二百カロリーの熱量と、約四瓦の蛋白質を與へますが、葡萄糖の注射では、二百カロリーを得るためには、五パーセントのものを一千立方糎を要する譯で、更にカロリーは未だしもとして、蛋白質やビタミンその他の榮養成分を完全に工合よく攝ることは、葡萄糖注射のみでは到底覺束ないのであります。

ですから榮養増進の上から云へば、出來るだけ經口的普通食餌によつて、榮養を攝取すべきでありますが、今一つ、こゝに困難を感じさせる點は、患者の嗜好の問題であつて、夏は兎角淡白な物ばかり好みますが、さうかと云つて一から十まで患者の望む通りになつては居られず、この點食慾に抗し嗜好に抵觸しつゝ適當の榮養分と相當なカロリーを患者に供給する事は、實地に當るものにとつて却々困難事であります。

そこで、

患者の食慾

不振を一掃するために、種々の薬劑や方法が研究されてきた譯ですが、結局胃腸本來の機能を根本から復活させて、食慾を喚起させることが治療上の鍵であつて、これに適當した方法として若素（わかもと）の服用が唱導され出したのであります。

それと云ふのも、この薬の主成たる活性ヘーフエ菌の中に、衰弱した組織細胞を内部から甦らせる働きがあつて、唯に胃腸機能許りでなく、結核病にあつては、生産毒素を原因から解消せしめるなど、殆どあらゆる器官を復活せしめる。一方ヂアスターゼ、リパーゼ、ペプトン等の消化酵素を含んでゐて、生理的に分泌した消化液の働きを助けるので、胃腸は自ら恢復して、旺盛な食慾を起す事になるのです。

のみならず、榮養素としても優秀な脂肪、蛋白質、ビタミン、無機質等を綜合的に含有しておりますので、食慾不振を訴へ乍ら、而も榮養を多分に必要とする患者にとつては、まことに願つたり叶つたりとも云ふべき薬餌でありませう。

母乳と牛乳

牛乳やミルクで育てる赤ちやんはたとへそれに重湯や穀粉等を混ぜて飲ませましても、どうも母乳の子供の様に丈夫に育ちません。そしてよく消化不良や脚氣に罹ります。

これは牛乳や、重湯ミルクに母乳の様な完全な榮養價がない、つまり乳兒の發育に必要なビタミン、リジン、チスチン、消化酵素等、最も豐富に含まれて居りますから、これを牛乳の中に混へて與へますと、榮養、消化ともによくなり、牛乳でも結構丈夫な發育が見られます。

忘れてならない登山の護身薬

體力増強と遭難時の用意に

登山もスポーツの一種として、近年益々盛んになりつゝあるのは、男性的な壯快さもさる事ながら、健康上に種々の効果があるからでもあります。

先づ高山は、空氣中の酸素が稀薄い爲、皮膚の働きが強まり、心臓や肺臓の生理作用を昂めて

肺臓の力を強大

にするのみならず、清浄な空氣と濃厚な日光の照射により、消化液の分泌を昂めて食慾を増進せしめます。

然し又一面には、暴風雨等に遭遇したり、或は行路に迷つたりして、過度の勞働、飲食物の不充分或は不攝生等を餘儀なくされ、その爲に健康を害し、時には生命の危險にさへ脅かされる事があります。それに對抗するには、身體の抵抗力――乃至は健康度のすぐれてゐる事が第一です。――この大切な體力を増強する法としては、活性ヘーフエ菌を主成とした若素（わかもと）の服用が、最も簡易で効果的であります。

天候の激變や、行路に迷つて、山中に彷徨し、救援致らず

糧食缺乏して

飢餓迫るの時など、幸ひに携帯する若素（わかもと）あれば、之を服用して榮養の補給を得る事も出來ます。

それと云ふのも若素（わかもと）は薬物とは申せ一種の微生物を製劑化したもので、優秀な脂肪、蛋白、燐、鐵、含水炭素、インシュリン、グリコーゲン等の諸榮養價を網羅して、その榮養價は人工的の榮養劑などに勝つてゐますが、更に人體細胞の機能を昂める各種の酵素をも含有して、全身の抵抗力を増強するのです。

そのよい例として、彼の歐洲大戰當時、糧食缺乏の厄にあつた獨逸で、この若素（わかもと）の主菌と同様の微生物を直接の食糧に供して、好成績を收めた事は、餘りにも有名であります。

又登山中は、氣温や水質の變化する爲に胃腸を害し下痢のために體力を弱め、又不眠や便秘の人は倦怠、根氣の減退等を醸して大切な登山精力を鈍らせるばかりでなく、山嶽病を誘發して

頭痛、耳鳴り

嘔吐と共に鼻血を出し、甚だしい場合は失神状態に陥ることさへあります。

ところが若素（わかもと）中の前記酵素には、食物の消化、吸收をよくし、衰弱した胃腸の機能を復活せしめる作用もありますから、水傷りや食傷りなどの下痢も、反對の便秘も、自然に回復させ、又安眠を得させる成分も含まれてゐます。従つてこの若素（わかもと）は、登山家が不時の健康障碍を救ふ護身用としては勿論、登山精力體力増強の目的に、携帯常用するには最も適切な薬であります。

この若素（わかもと）は東京芝公園大門内際、わかもと本舗榮養と育兒の會（振替東京一七〇〇番）から三百錠入、千錠入粉末九〇瓦入、二七〇瓦入等が一日分僅々五六銭（小兒には二三銭）の廉價で發賣されてゐます。尚、滿洲國、中華民國の各地薬店でも取次販賣しております。

小學卒業頃から夏まけ、めまひに惱む

（北海道）奥澤初男

私は小學校時代から運動が好きで、特にマラソンなどは大てい何時も一番でした。それが小學校を卒業する頃から胃腸病に罹り、ことに夏になると夏まけして食慾は進まず、根氣がなくなり勉強も不出來になりました。しかし根が丈夫ですから別に氣にも止めずに居りましたが、少し無理をすると目まひがしたり夜分は寢汗をかき閉口致しました。

だんく身體の調子が惡くなるので、いろくの薬を服用致しましたが、思はしくないのです。ところがある人から「錠劑わかもと」が大變良いといふ事を聞いたので早速服用致しました。すると全身が大變快くなり先づ安心致しました。それから毎日規則正しく服用をつゞけましたので毎日食が進み、胃腸も病まず寢汗もかゝなくなりました。今ではこの店に入り、毎日元氣よく、愉快に働いて居ります。

昨年夏などは、少しも夏負けせず、愉快に海や山に遊びに行きましたが、今年も錠劑（わかもと）のお蔭で大丈夫と思ひます。

戰慄の遭難を語る

鼻に針金を通され 無慘、吉田君の…

材木の下に生米嚙つて…

通州生還の野中…

憤死の同僚電々社員吉田唯四郎（二六）鈴木樹一（二六）松本嘉右衛門の三氏の遺骨を護つて天津より大連に到着し同地まで出迎への三多副總裁、田村文書課長とともに歸京した野中高秀氏（三四）は死線を彷徨すること三十六時間、路傍に積重ねられた材木置場の蔭に避難中不幸にも三歳の愛兒を窒息のため失つた悲しみと叛亂の保安隊と廿九軍敗殘兵の暴虐極まる慘行をマザ〳〵と眼前に見せ付けられた昂奮に口を震はせ乍ら、直ちに本社に赴き廣瀨總裁以下在京重役に當時の慘狀を報告したが「友人の仇々とる氣持で子供の遺骨を妻にもたせて歸鄉させ直ちに現地で精根の續く限り働く積りです」と悲壯な決意を洩らし乍ら殘虐の跡に就き左の如く語る【寫眞は野中高秀氏】

事變突發の前日に守備隊で邦人犧牲者の慰靈祭があり、吾々も參列して午後十一時すぎ歸宅したので廿九日早朝銃聲に眼が覺めたときは、まさか保安隊の叛逆とは思はれず皇軍が廿九軍と交戰してゐるとのみ考へて安心してゐましたが刻々と猛烈となり、果ては電話局から三十間許り離れた吾々宿舍に彈丸を浴びせるので支那軍の攻擊と判り避難の準備をしてゐるところへ隣接の支那人が來て頻りに「逃げなさい、隱れなさい」とすゝめるので自宅の裏手にある材木の下に親子四人と滿鐵の神谷君と隱れたのです

三尺と一尺位の狹いところで生米を嚙り乍ら三十六時間の間、息をこらしてゐました、眼の前を右往左往する支那兵に子供の泣き聲が聞へてはいけないと乳を含ませてゐる中にとう〳〵子供を一人失ひました、三十日午後三時すぎ皇軍の入城を知つたときには實に再生の思ひでした

保安隊に就いては事變當日の二、三日前から支那人がボツ〳〵と通州を避難してゐましたが叛亂の動向は何にも判りませんでした、北平から通州に避難してくるほどだつたのですから……同僚三君の戰死狀況は

鈴木君は旅館山陽館の表口で出くるところをやられ吉田君は電話局で捕虜となり鼻頭に針金を通されて引廻された末に死んでゐました松本君は電話局から四丁許りの離れた畑の中で發見されましたが死體は熟さのため腐敗して見分けが付かず

松本君は腹卷の金で判つた位です、同君は何時も胴卷…

殉職三氏の遺骨 昨悲しみの凱… あす盛大な社…

過ぐる通州事變において暴虐支那軍保安隊のため哀れ無念の殉職を遂げた電々社員吉田唯四郎、鈴木樹一、松本嘉右衛門三氏の遺骨は當時九死に一生を得た同僚野中技手宰領のもとに大連まで出迎への三多副總裁及び田村文書課長等に護られて細雨そぼ降る十三日午後六時二十分着あじあで無言の歸還をなした、驛第一ホームには廣瀨總裁以下井上總務部長、前田營業部長、中田技術部長はじめ各局長、多數社員の出迎へがあつたがこの悲報にはるばる內地から出迎へた各遺族の淚に濡れた哀愁の姿は一入哀れをそゝつた悲しみの遺骨三體は田村課長の先導で蕭々たる霖雨の中を一路電々本社に到り一先づ同社講堂に安置と共に多數社員參列、西本願寺光岡光昭師によつてしめやかな告別式が執行された、なほ右三氏に對する社葬は十五日午後二時から電々本社に於て盛大に行はれる【寫眞は驛頭にて】

僞醫者捕る

最近半島人僞醫者が跋扈するとの風評に領警署ではひそか…

義人長七郎

（禁上演映畫化）中川雨之助
竹枝一郎畫

旗本斬り（六）（十一）

「へえ、一大事ですか……」

親分の彦左衛門から、しよつちう天下の一大事を聞かされて、耳に慣つてゐる太助のことです、月並の一大事ぐらゐでは、一向に驚きません。

「雨宮小十郎殿が捕虜になつた」

「捕虜……あの亂暴者の雨宮さんが、なんだつて、捕虜なんかに……」

「一體それは何處の出來事なんで……」

「築地南小田原町の兩替屋永樂屋の隣裏に、近頃新築した屋敷があるだらう」

「へえ……」

「知らないか」

「知りませんね」

「では、何者の仕業だといふこと

なつたといふ一件は？……」

「あゝ、左樣だ。相手は未だ弱輩の取るに足らぬ青二才だが……」

「そんな奴が、どうして雨宮さんを捕虜にしたんです」

「其奴一人なら、捻り潰すに雜作は無かつたのだが、家來一人現れてた……」

「そいつが強かつたんですか」

「そいつが、強くも無かつたが……」

……聊か……」

「聊か。どうしました」

「聊か、こちらが弱かつた」

「はゝゝゝ。やつぱり向うが強いんだ。ところで喧嘩の起りはどういふことなんです？……」

と、乘氣になつて太助が尋ねましたが、不圖氣がついて、

「往來で立ち話も出來ませんから何處かで一杯やりながら、話を聞かうぢやありませんか」

と、太助が言ひました。

「それも宜からう」

といふので、平間、雨宮の兩人も同意して、それから三人打連れて、木挽橋を渡りました。

大概の旗本連中、太助にかゝつては、まるで友達扱ひです。だがそこが、名物男の名物男たる處で、誰一人苦情を言ふものは無い。大久保彦左衛門を後ろ楯にして、臂に彫たる「一心」の文字とともに、男を賣つて居る太助の身上ともいふべきところでせう。

さて三人は、木挽橋を渡つて三十間堀の夜の河岸縁を、南へ芝口金六町までやつて來ると、そこに一軒の居酒屋がありましたので、太助は先に立つて暖簾を潜りました。

正面の座敷へ通つて、衝立の向うに席を占て、一杯始めましたが、平間新九郎が、ソロ〳〵一件の物語りを致しました。

しかし、苟くも兩刀の手前、實く出鱈目を並べるのでした。

「今宵我々三人が、所用あつて南小田原町を通りかゝつたと思へ。」

さうすると、南本郷町への曲り角、あの堀田備中殿屋敷の前に來かゝつた時、突然物蔭から飛出して來た一人の男があつた。これが巾着切で、あツといふ間に、忽ち雨宮氏の懷中から、百兩近くもはいつて居る財布を盗んで逃げ出した」

「へえ、雨宮さんが、百兩近くも持つて居たんですか。あの人も、近頃だいぶん吝面が好いとみえますね。あつしや、あの人に二兩といふ魚代の貸があるんだが、もう三月にもなるのに、いまだにそのまゝになつて居るんだ……」

「コレ太助、よけいなことを申すな。せつかくの話の腰が折れてしまふではないか。……そこでわれわれ三人、その財布を取り返さうと、直ぐに巾着切のあとを追ひかけた」

「どうです。うまく捕まりましたかね」